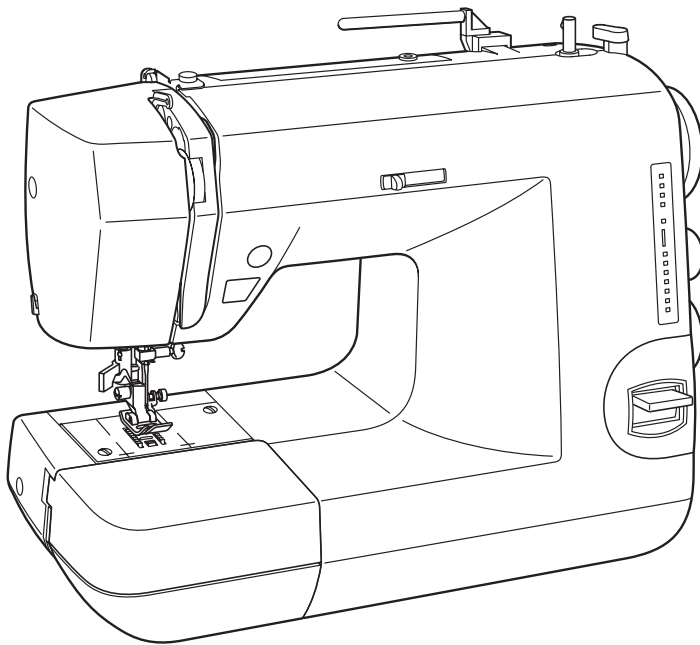


**JUKI**

**HZL-24**

# 取扱説明書




















**!** 注意

安全にご使用していただくため、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書  
をお読みください。また、いつでも  
ご覧になれますように保管してください。









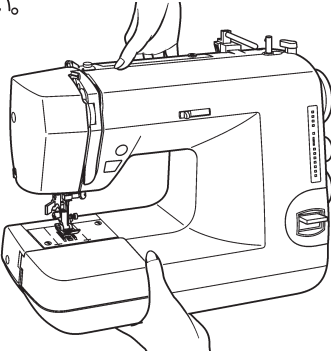
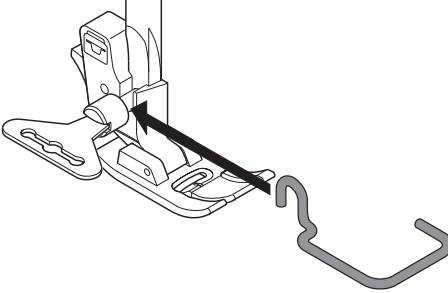
# ＝ 安全にご使用いただくために ＝

- ◎ ご使用の前に、この『安全上の注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

絵表示について	
この『安全上の注意』では、使用者が製品を安全に使用できるように、誤った取り扱いをする事によって生じる内容を次のような絵表示によって区分しています。いずれも重要な内容ですので必ず守ってください。	
	警告:取り扱いを誤った場合、人が死亡又は重傷を負う危険が生じる事が想定される内容を示しています。
	注意:取り扱いを誤った場合、人がケガをしたり、物的損傷が発生したりする恐れがある内容を示しています。
絵表示の例   	
	記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	記号は使用者の行為に注意を呼びかける内容であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
	記号は使用者の行為を指示強制したりする内容であることを告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

 <b>警告</b> 感電、火災の恐れがあります	
 一般家庭用交流電源 100 V でご使用ください。 禁 止	 コンセントから抜く時は、必ずアダプターを手で持って抜いてください。コードは引っ張ると内部で脱線し、焼けることがあります危険です。
 以下のような時は、電源ランプスイッチを切り、電源プラグを引き抜いてください。 ・ミシンのそばを離れる時 ・ミシンを使用した後 ・ミシン使用中に停電した時 注 意	 コードは無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。コード内部で脱線し、焼けることがあります危険です。 禁 止
 ミシン、電源コード、電源プラグ等を水に濡らしたり、水に落としたりしないでください。 万一、濡れた場合は使用しないでください。 感電注意	 お客様自身での分解、改造はしないでください。 分解禁止
 <b>注意</b> 感電、火災、けがの原因となります	
 ミシンの内部に異物やドライバーなどを差し込まないでください。 禁 止	 お子様がお使用になる時や、お子様の近くで使用される時は、特に安全に注意してください。 注 意
 ミシンには正規の部品(ボビン・針等)をご使用ください。 禁 止	以下のことをする時は、電源ランプスイッチを切ってください。 ・針、針板、押え、アタッチメントなどを交換する時 ・上糸、下糸をセットする時 ・ランプを交換する時 (ランプが冷えてから行ってください) ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行う時
 最初のひと針は、必ずはずみ車(プリー)を手で回し、布に針が刺さった状態から、初めて操作してください。 注 意	
 ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、はずみ車(プリー)、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。 注 意	

**⚠ 注意 感電、火災、けがの原因となります**

<p> 曲がった針はご使用にならないでください。 禁止</p>	<p>ミシンを動かす時は、かまカバーを開けてください。 注意</p>
<p> ぬう時は布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。 禁止</p>	<p> ミシンに以下の異常がある時は、すみやかに使用を停止し、お買い求めの販売店、または販売元で点検、修理、調整をお受けください。 禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 正常に作動しない時</li> <li>• 水に濡れた時</li> <li>• 落下などにより破損した時</li> <li>• 電源コード、プラグ類が破損、劣化した時</li> <li>• または異常に熱くなった時</li> </ul>
<p> シンナー、ベンジン等で拭いたりしないでください。 禁止</p>	<p> ミシンにほこりがたまらない様にしてください。 注意</p>
<p> 最初にミシンを使用するときは、押え金の下に布切れを置いて、糸を使用しないで、ミシンを操作し十分に油気を取り除いて下さい。 注意</p>	<p> <b>フィンガーガードを使用するときの注意</b> 押えの止めネジをゆるめ、図のようにフィンガーガードを取付け、ネジを締めます。 注意</p>
<p> <b>ミシンを移動するときの注意</b> ミシンを移動するときは、図のように両手で持ってください。 注意</p> 	

**「自動停止装置」について**

- ◆ このミシンは、誤った操作などをしたとき、自動的に運転を止める安全装置がついています。
- ◆ たとえば、縫製中に糸がかまにくい込んだりしたようなとき、安全装置がそれを感知し、3秒以内に自動的に電流を遮断し、モーターを止めます。
- ◆ モーターが止まったら、糸がらみなどミシンを止める原因となったものを取り除いてください。

**「安全装置」について**

- ◆ このミシンにはモーターの加熱を防ぐため温度ヒューズが付いています。長時間低速でミシンを使用すると、ミシンが停止することがあります。ミシンが停止した場合は、ミシンの電源を切り、しばらく休ませた後、再度電源を入れてご使用ください。

※ 製品のデザイン、仕様は改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

# も く じ

## 1. ご使用になる前に

各部の名称 .....	2~4
電源のつなぎ方 .....	5
操作スイッチ .....	6
スピードコントロール .....	6
糸ゴマのセット .....	7
押え上げ .....	7
フリーアーム(筒ぬいのしかた) .....	7
返しぬいレバー .....	8
ぬい模様選択パネル .....	8
ぬい目長さ・スーパー切換えダイヤル .....	8
下糸の巻き方 .....	9
ボビンケースの取り出し方 .....	10
ボビンケースへの糸の通し方 .....	10
ボビンケースの取り付け方 .....	11
針と糸の使い方 .....	12
針のとりかえ方 .....	12
上糸のかけ方 .....	13~14
自動糸通しの使い方 .....	14
下糸の引き上げ方 .....	15

## 2. さあぬってみましょう

ミシンのセットのしかた .....	16
直線ぬい .....	17~23
ぬい方向の変え方 .....	19
ファスナーつけ、パイピング .....	20
ぬいにくい布地のぬい方	
薄物・厚物・段ぬい .....	21
糸調子のとり方 .....	22
下糸調子のとり方 .....	22
押えのとりかえ方 .....	23
ジグザグぬい .....	24
サテンステッチ(密着ぬい) .....	24
まつりぬい(ブラインドステッチ) ..	25
3点ジグザグぬい	
裁ち目かがり、つくろいぬい .....	26

シエルぬい .....	26
スーパーぬい(ストレッチステッチ) ...	27~28
伸縮強化ぬい・ジグザグ伸縮ぬい・	
オーバーロックぬい・スモッキングぬい	
飾りぬい .....	29
ボタン穴かがり .....	30~31

## 3. ミシンのお手入れ

かまの掃除・送り歯の掃除 .....	32
電球の取りかえ .....	33

## 4. ミシンの調子が悪いとき、 次の原因を確かめましょう

.....	34~35
-------	-------

## 5. 別売り付属品のご案内

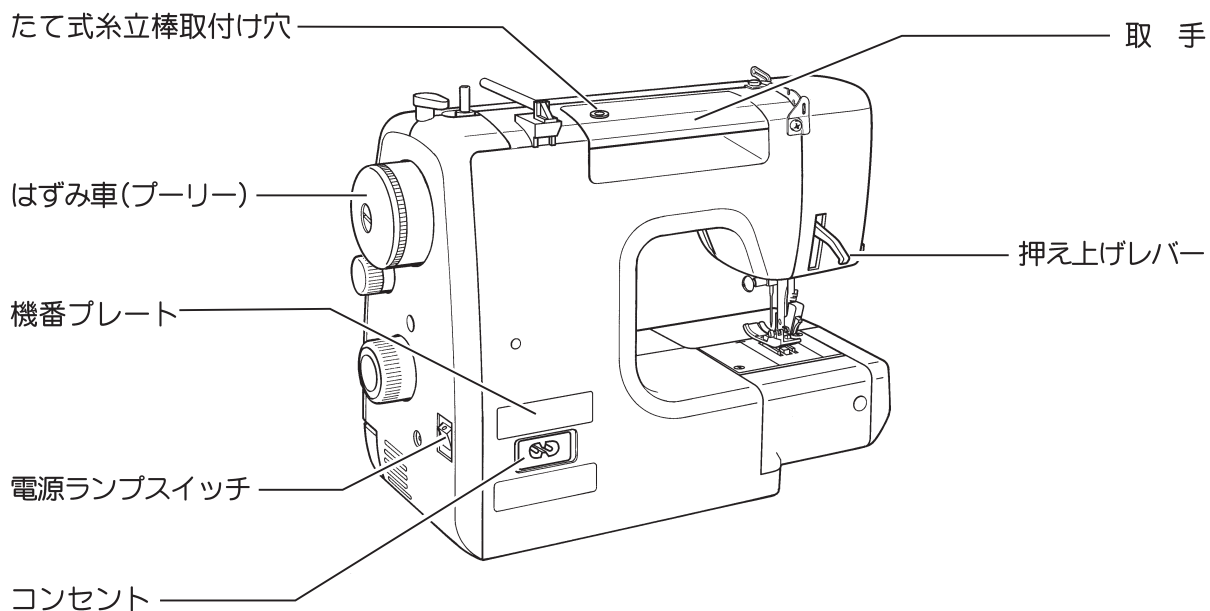
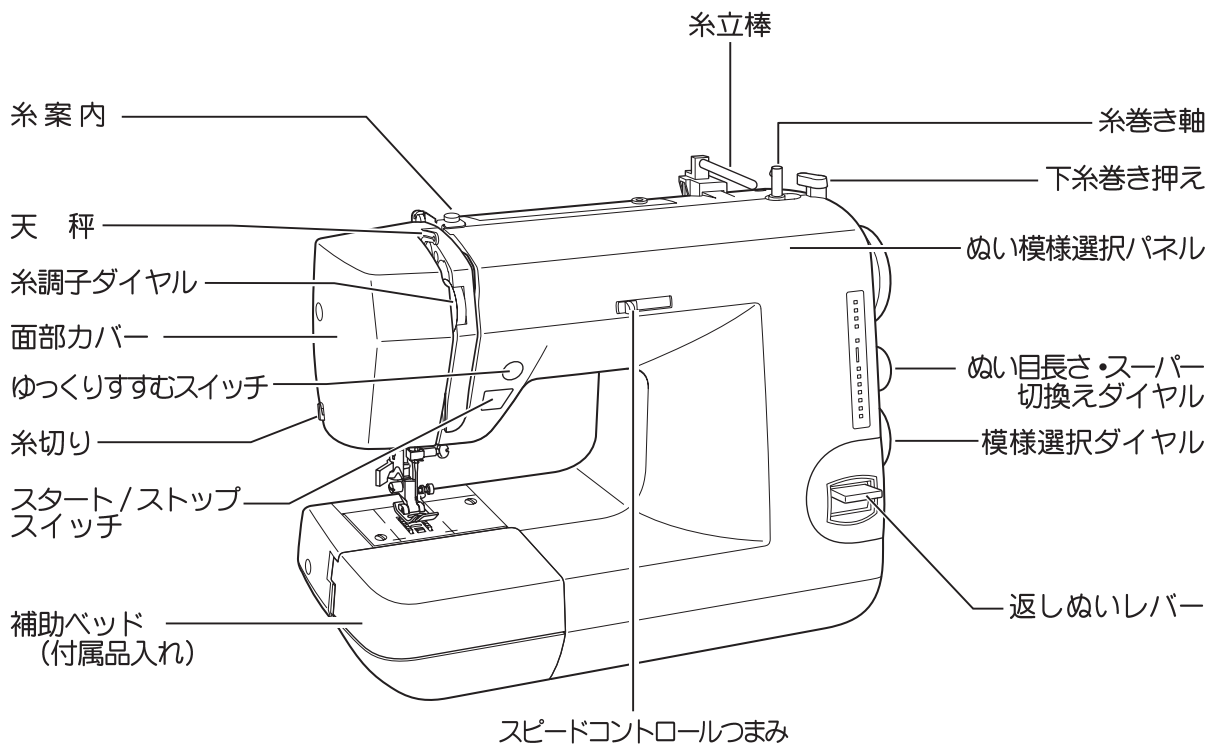
.....	36
-------	----

### ミシンの仕様

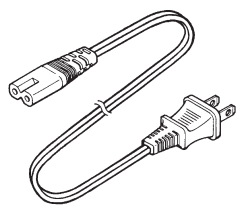
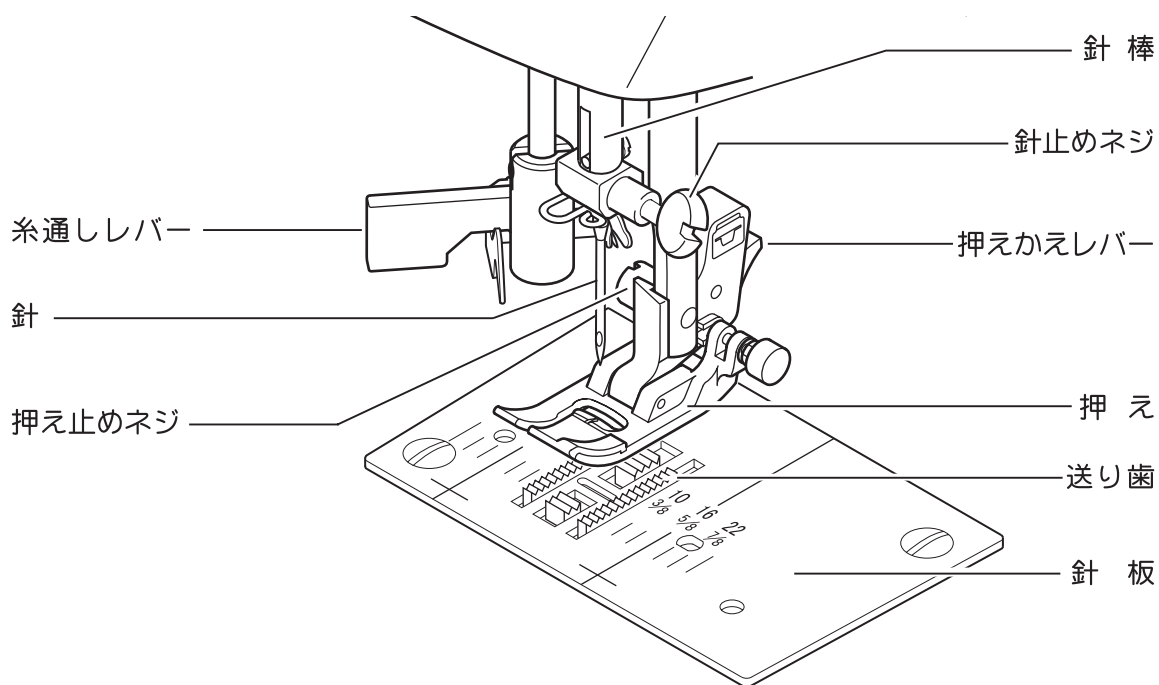
本体寸法：巾35.2×奥行15.5×高さ25.5(cm)
本体重量：6.5kg(補助ベッド付き)
定格電圧：AC100V
定格電圧/消費電力：100V/70W
定格周波数：50/60Hz
ランプ消費電力：100V/15W

# 1. ご使用になる前に……

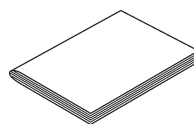
## 各部の名称



## (各部の名称)

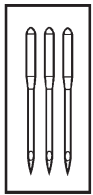
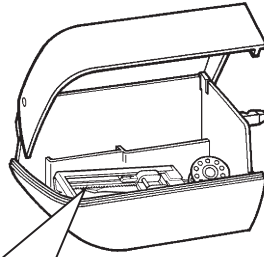


電源コード

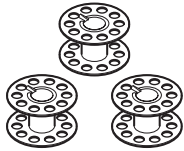


説明書

図の様に付属品入れを左に引き出し、  
ふたを開けると付属品が入っています。



針セット  
(#14×3本)



ボビン  
(×3)



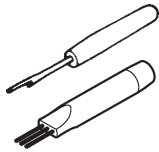
糸ゴマキャップ



糸立棒



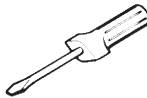
糸立座



リッパー/ブラシ



専用ドライバー



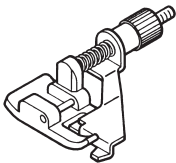
ネジ回し



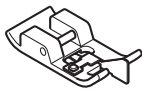
ミシン油



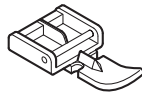
フィンガーガード



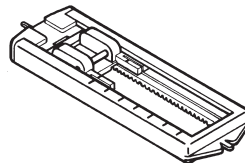
ブラインド  
ステッチ押え



ファスナー押え

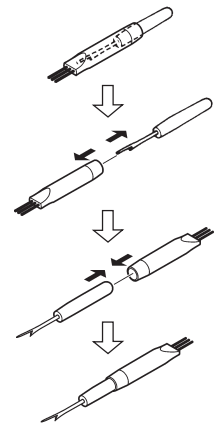


裁ち目かがり  
押え

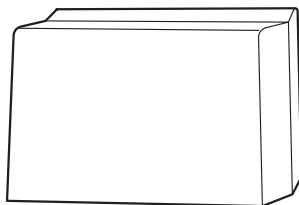


ボタン穴かがり押え

リッパー/ブラシ



ソフトビニールケース



# 電源のつなぎ方

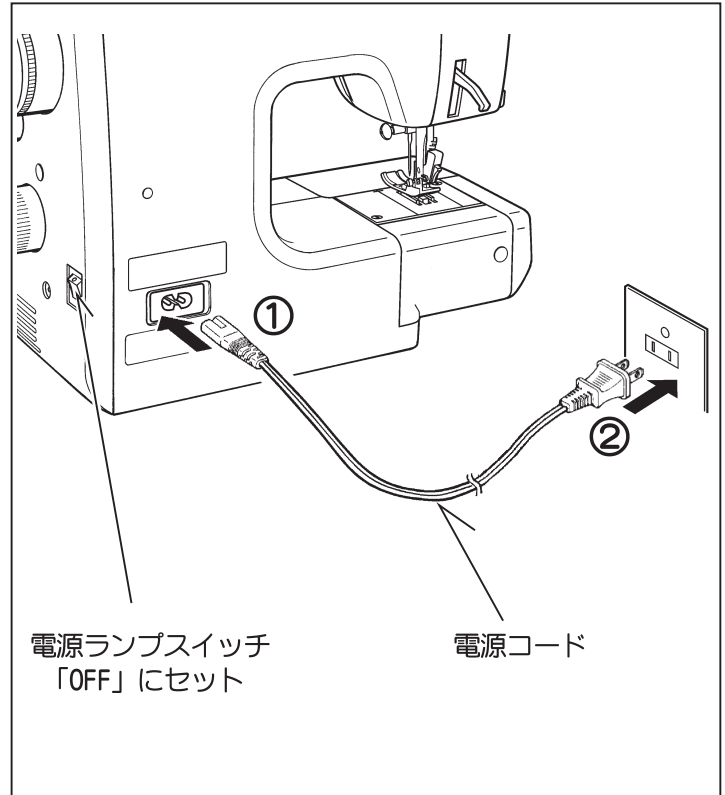


ミシンを使用しないときは、必ず電源ランプスイッチを切り、電源コードを電源から抜いてください。

電源ランプスイッチを「OFF」にしてください。

電源コードのプラグ①をミシンにしっかりと押し込みます。次にプラグ②を室内コンセントにさしこみます。

電源ランプスイッチを「ON」にして電源をいれます。  
(同時に照明ランプが点灯します。)





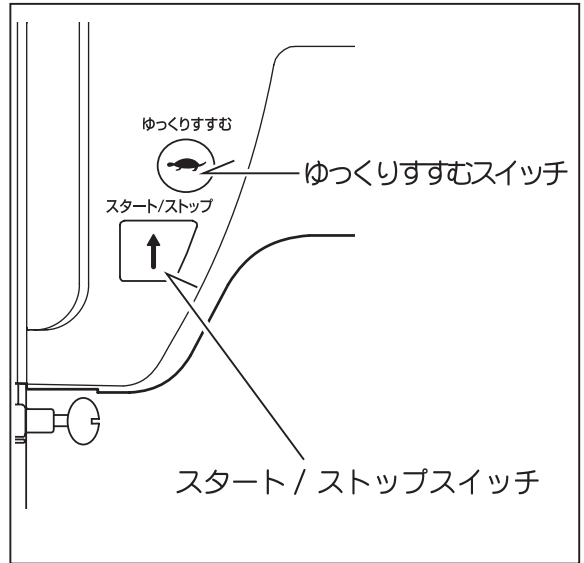
# 操作スイッチ

## ◆ スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すと、ミシンはゆっくり動き始め、2～3秒後にスピードコントロールのつまみの位置のスピードに達します。もう一度押すとミシンが止まります。

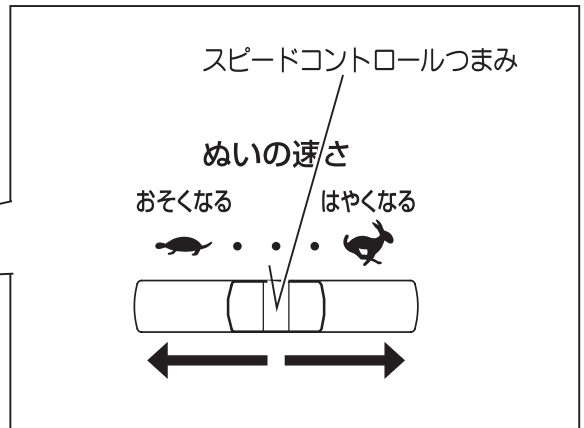
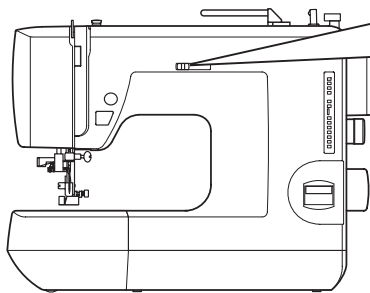
## ◆ ゆっくりすすむスイッチ (最低速ぬい・停止スイッチ)

ミシンが動いているときにこのスイッチを押すと、瞬時に速度が落ちゆっくりぬい始めます。押している間だけゆっくり動き続け、スイッチから手をはなすとミシンは停止します。  
(注) このスイッチはミシンをスタートさせるスイッチではありません。



# スピードコントロール

このミシンには電子回路が内蔵されており、自由に速度調整が可能です。つまみを右に動かすとスピードが早くなり、左に動かすとスピードが遅くなります。



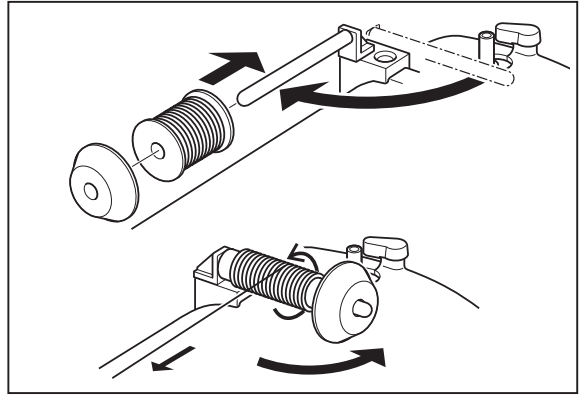
## 糸ゴマのセット

### ◆ よこ式糸立棒

糸立棒を図のように回転させ、糸ゴマと糸ゴマキャップをセットします。

細い糸ごまの場合、図のように  
セットします。

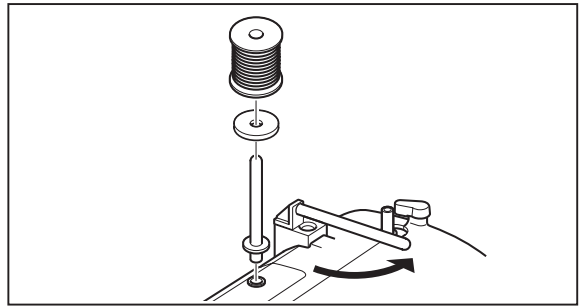
⑨ 糸ごまが回転するか確認  
してください。



### ◆ たて式糸立棒

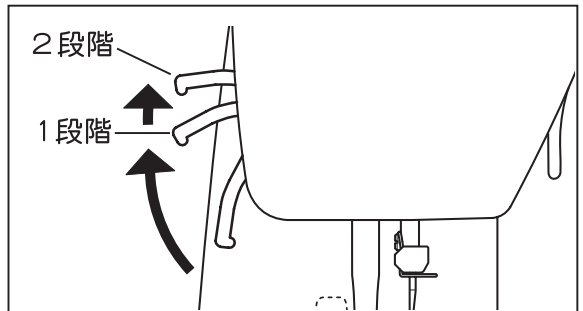
糸立棒を図のように差込み、糸立座と糸ゴマをセットします。

⑨ よこ式糸立棒は元の位置に戻しておきます。



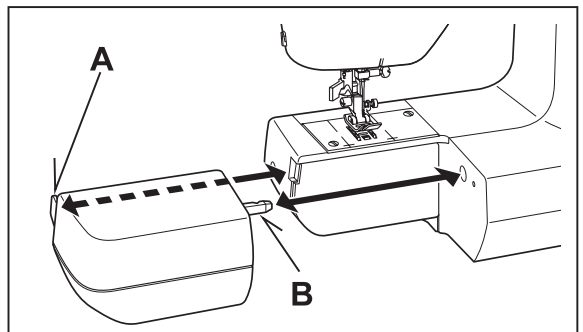
## 押え上げ

- 1 むうときは、押え上げレバーを下げておきます。
- 2 押え上げレバーは2段階です。2段階目上げる時は、押え上げレバーを手で支えながら、さらに持ち上げます。



## フリーアーム (筒ぬいのしかた)

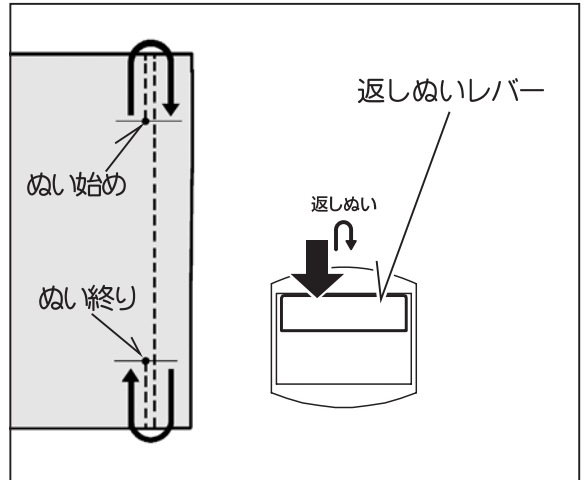
補助ベッドを左に引っ張って外すとフリーアーム型になります。  
補助ベッドをもとに戻すときは、テーブルをミシンに沿ってすべらせながら、案内ピン(A、B)を所定の位置に差し込みます。



## 返しぬいレバー

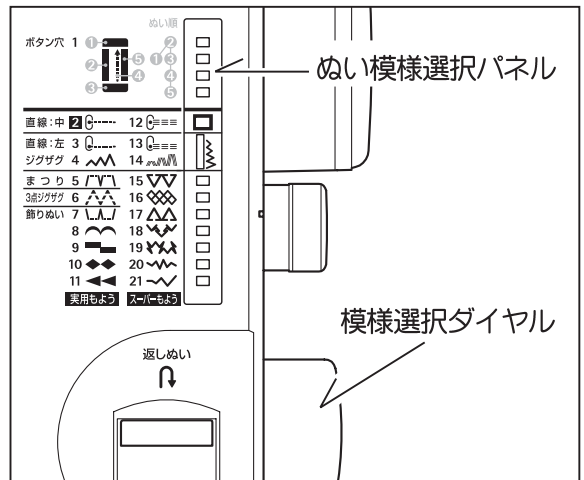
ぬい始めとぬい終りに3～5針返しぬいをして  
おきますと、ぬい目がほころびず、丈夫になり  
ます。

作動中に返しぬいレバーを押し下げますと返し  
ぬいができます。




## ぬい模様選択パネル

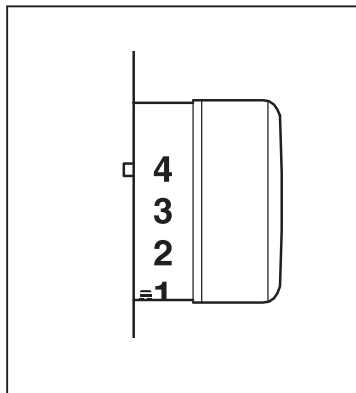
模様選択は口窓に表示されるので模様選択ダイ  
ヤルを回すだけで希望の模様が選択できます。





## ぬい目長さ・スーパー切換えダイヤル

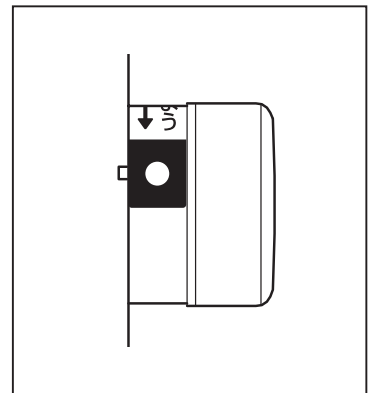
### ぬい目長さ

ぬい目は数字が  
大きくなれば長  
くなります。  
数字を  に  
合わせます。



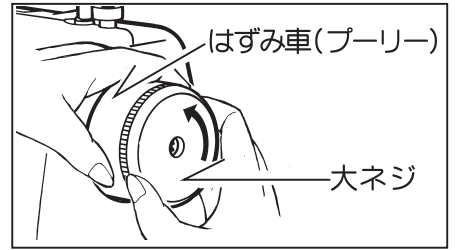
### スーパー切換え

スーパー模様を  
ぬうときは   
印を  に合  
合わせます。

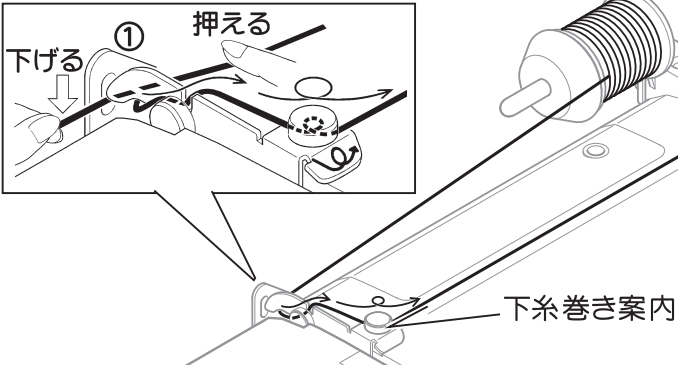


## 下糸の巻き方

**1** はずみ車(プーリー)をしっかりつかみ、大ネジを矢印の方向に回してゆるめ、ミシンを空転の状態にします。



**2** 糸立て棒に糸ゴマを入れ、糸を押えたまま糸巻案内①に糸をかけ、下糸巻き案内を経由して糸ごまから糸を引きます。

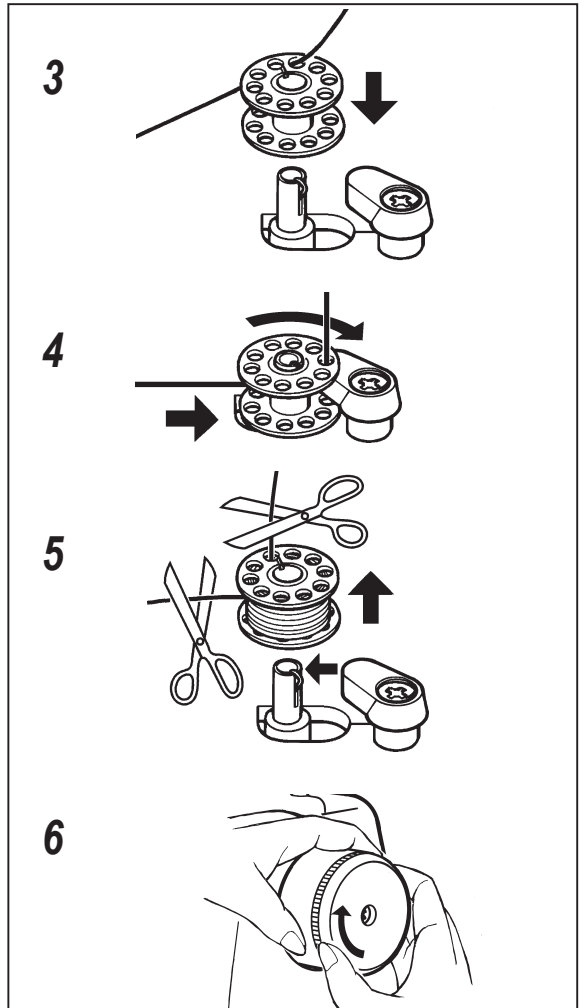


**3** ボビンの穴に糸を通し、ボビンを糸巻き軸にはめこみます。

**4** 糸の端を持ち、ボビンを右に押しします。スタート/ストップスイッチを押して糸を巻きます。(糸を巻いている間は針は動きません。)

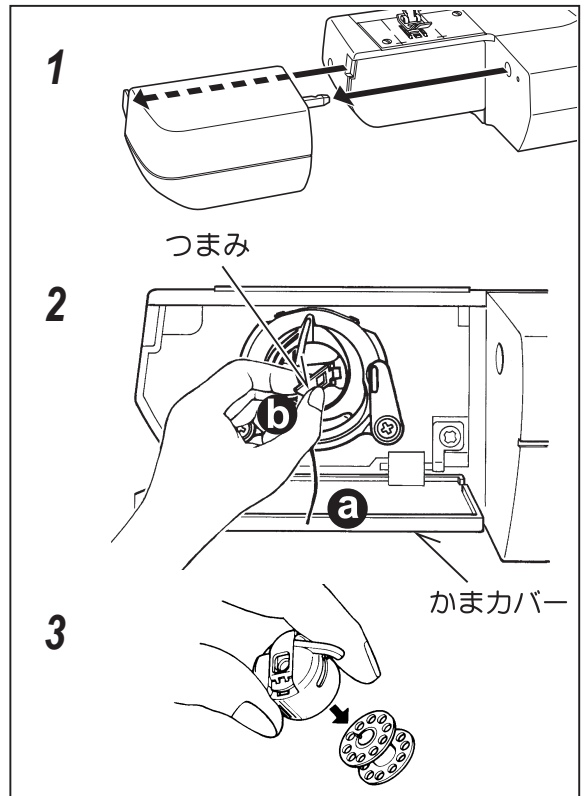
**5** 下糸が一杯になって、ボビンの回転が止まったらミシンを止めます。糸巻き軸を左にもどし、ボビンを外し、糸の端を切ってください。

**6** 大ネジを矢印の方向に回して固く締めます。



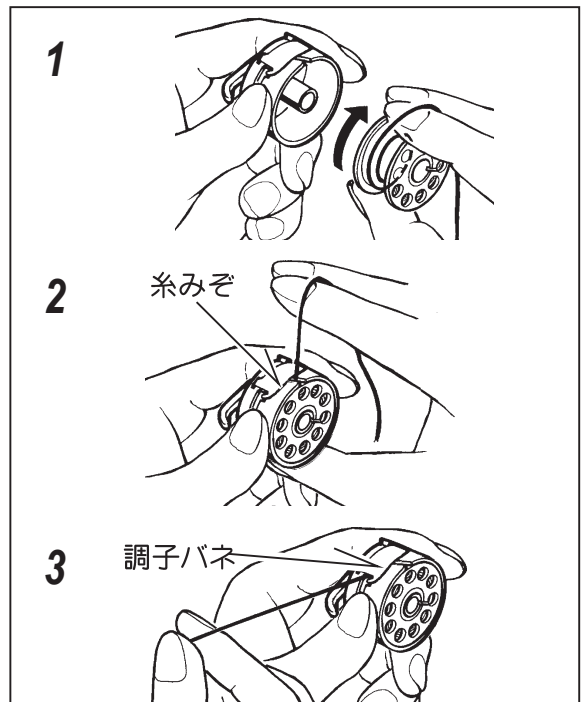
## ボビンケースの取り出し方

- 1 補助テーブルを左に引っ張って外します。
- 2 a. かまカバーを開けます。  
b. ボビンケースのつまみをおこし、ボビンケースを引き出します。
- 3 ボビンケースのつまみをはなし、下向きにすると、ボビンが取り出せます。



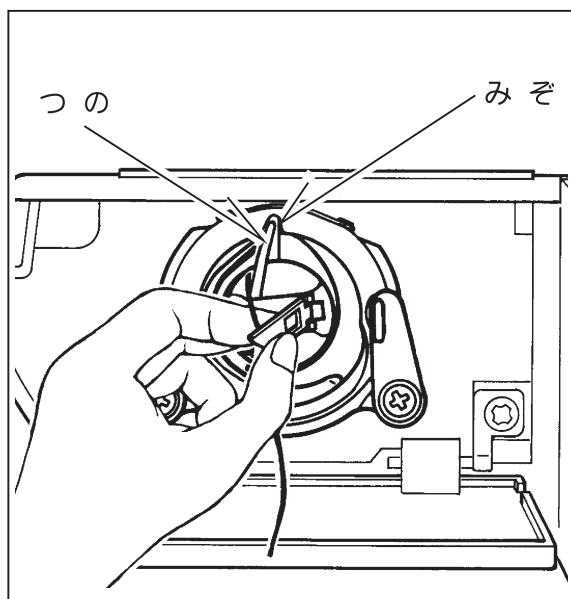
## ボビンケースへの糸の通し方

- 1 糸を右回り（時計の針と同じ方向）に出してボビンをボビンケースにいれます。
- 2 ボビンケースの糸みぞに糸をいれます。
- 3 a. 糸みぞから調子バネの下へすべり込ませます。  
b. ボビンケースから糸を10cmぐらい引き出しておきます。



## ボビンケースの取り付け方

つのを真上にして、つまみを持ち、つのをかまのみぞにはめてセットしてください。



# 針と糸の使い方

- ※ H A × 1 家庭用ミシン針を使用してください。
- ※ 布地に適した針と糸を使用してください。
- ※ 上糸と下糸は通常同じ種類の糸を使います。
- ※ 曲がった針や先の丸くすりへった針は使用しないでください。
- ※ めいにくい布地のめい方は21ページを参照ください。
- ※ 伸縮布地等、目とびしやすい布地にはニット針の使用をおすすめします。

布 地	針	糸
薄地デシン 薄絹地	9番 (細い)	120番 100番
薄物布地	11番 (やや細い)	100番 80番
キャラコ 木綿地 サージ 伸縮布地	14番 (普通)	60番 50番
毛織物 厚地類	16番 (太い)	40番 30番

## ●針の選び方

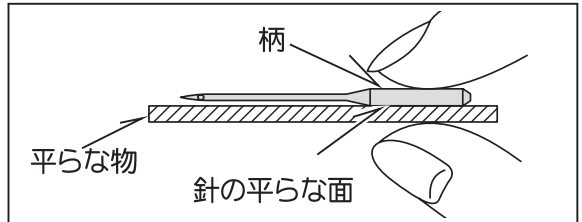
針をお買い求めの際は、家庭用ミシン針H A × 1 またはH A × 1 S P (ニット針) を指定します。



太さの番号表示  
数字が大きくなると  
針が太くなります。

## ●針の調べ方

すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにします。

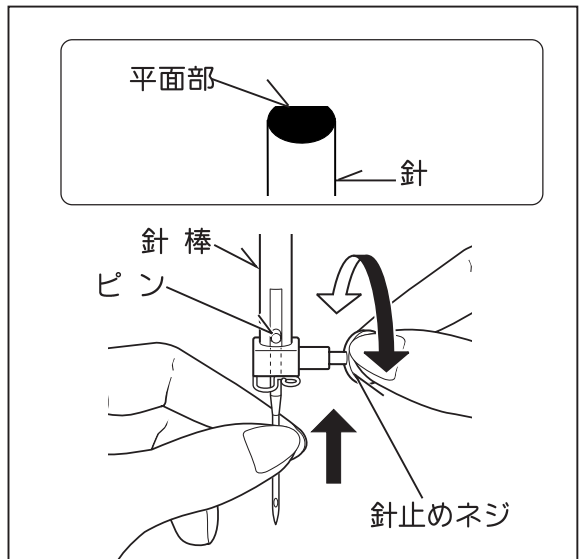


# 針のとりかえ方

注意

必ず電源ランプスイッチを切ってください。

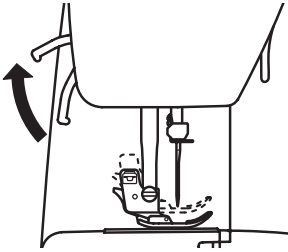
- 1 はずみ車(プーリー)を手前に回し、針棒を最上点にあげます。
- 2 針止めネジを手または専用ドライバーでゆるめ、針をはずします。
- 3 新しい針の柄の平らな面を向こう側に向けて持ち、針が針棒のピンに当たるまで差しこみます。
- 4 手または専用ドライバーで針止めネジをかたくしめます。



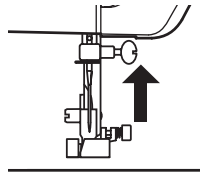
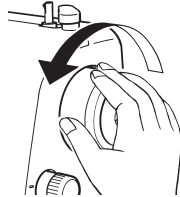
# 上糸のかけ方

## ◆ まず上糸をかける前に行ってください。

A. 押え上げを上げます。



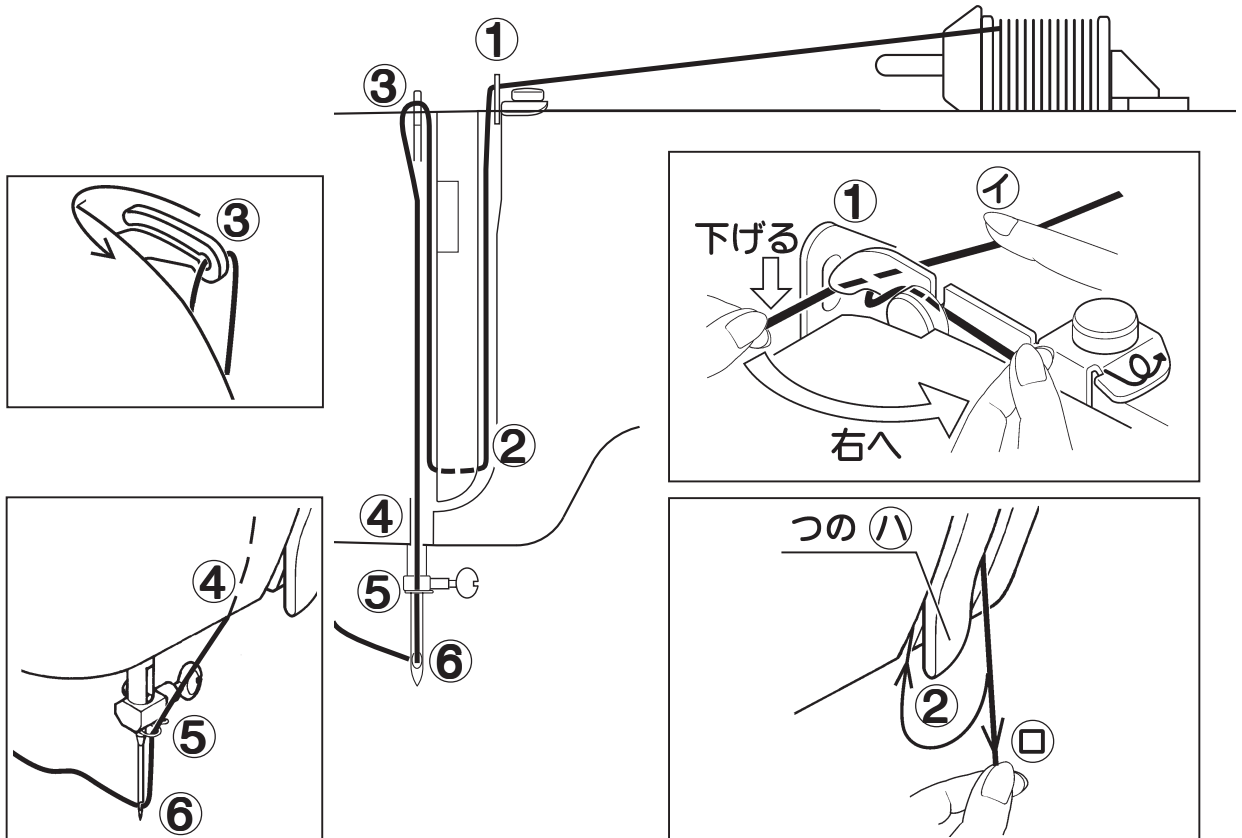
B. プーリーを手前に回して、針を上げます。



C. 図の順番に糸をかけます。

- 糸①を押えたまま糸案内①に糸をかけ、溝にそって下へ②ひっぱる。
- つの⑧の内側にUターンする。
- 天びん③へ右から左に糸を入れる。
- 溝の内側④へ入れる。
- 糸案内⑤に糸をかける。
- 針穴⑥に前から後ろへ糸を通す。

## ◆ 図の番号順に糸をかけます。





## 自動糸通しの使い方

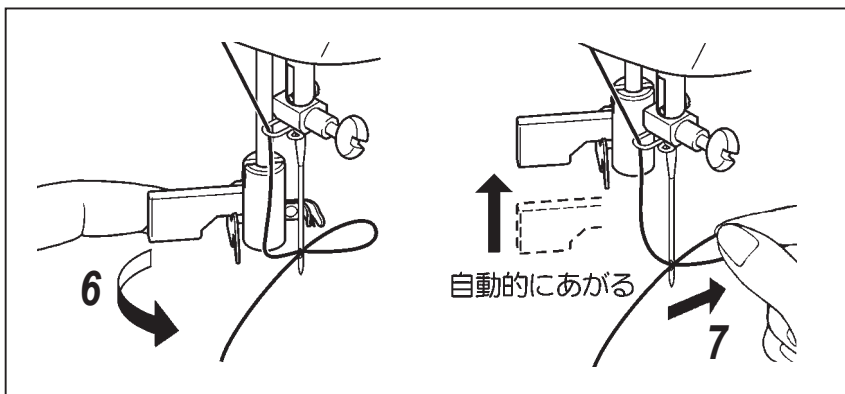
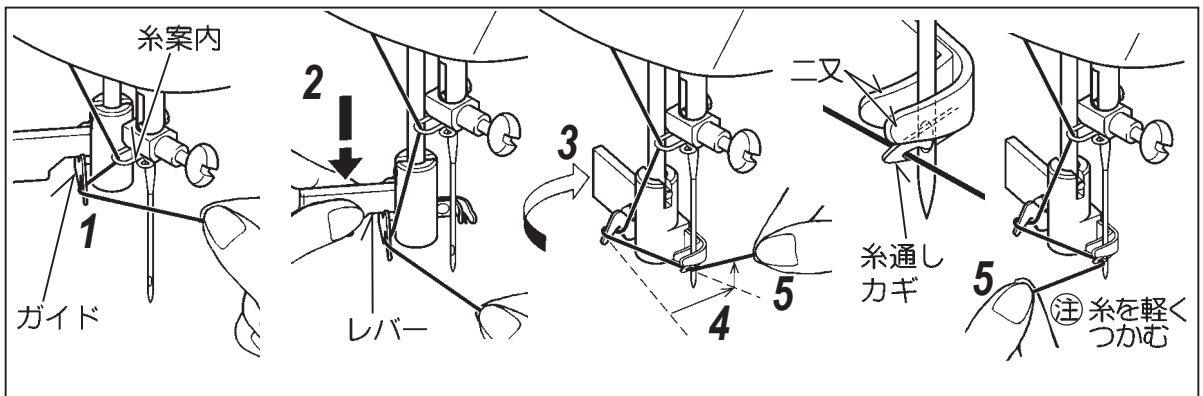
- 押え上げレバーを下げます。
  - はずみ車(プーリー)を手前に回し、針を最上点付近にしてください。
- 1 上糸を糸案内とガイドに図のようにかけます。
  - 2 糸を保持したまま、レバーを一番下まで下げます。
  - 3 図のように糸通しカギが針穴に入る方向に回転させてください。  
③ 針最上点でないと、レバーは回転しません。
  - 4 糸を二又の下に入れ、
  - 5 糸通しカギにひっかけます。糸を軽くつかみ、正面手前で保持してください。
  - 6 レバーを後方より押すと、糸が針穴後方に輪になって通ります。
  - 7 輪になった糸を向う側に引き出してください。

- ③ 注 ● 太い糸を使うと糸通しができません。  
● 細い針は糸通しができません。



注意

ミシンが動いているときに糸通しレバーを下げると、故障の原因になりますのでご注意ください。



# 下糸の引き上げ方

1 押え上げレバーを上げてください。

2 左手で上糸を軽く持ち、はずみ車(プーリー)を手前に一回転させ、再び針が上の位置になったところで止めます。

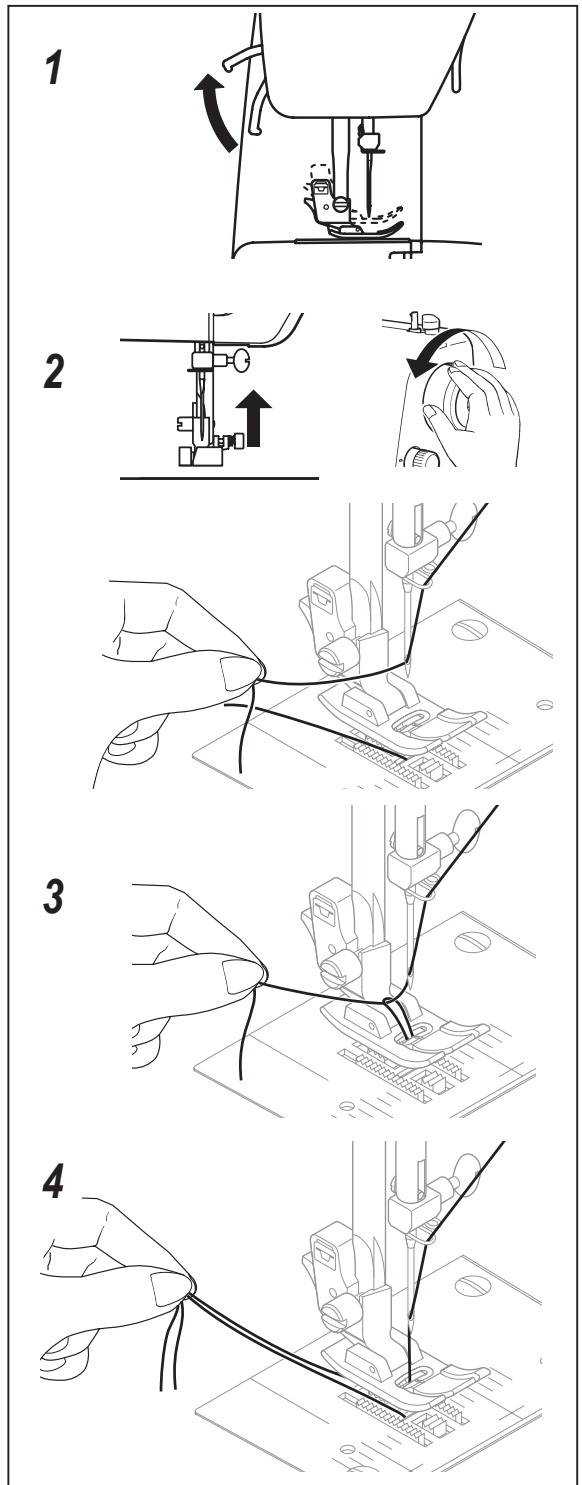
3 上糸を軽く引き上げると、下糸が引き出されます。

4 上糸と下糸をそろえて押えの下に通し、10cmほどうしろへ引き出しておきます。

## = チェックポイント =

図の手順で下糸が引き上げられない場合は、次の点をチェックしてください。

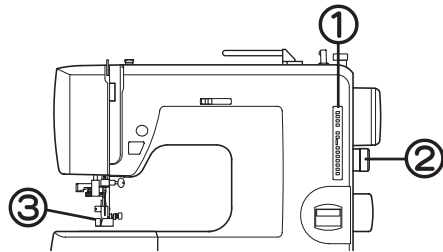
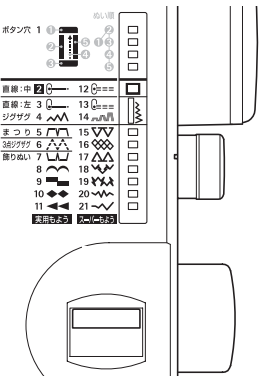
1. 針に糸が通っていますか？
2. 糸が針の回りにからまっていませんか？
3. ホビンケースから糸が10cmほど出ていますか？
4. ホビンケースから出た糸がもつれていませんか？
5. ホビンケースに糸が正しく通っていますか？



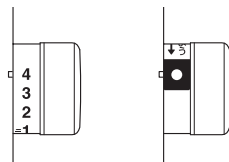
# 2. さあぬってみましょう……

## ミシンのセットのしかた

### ① ぬい模様選択パネル



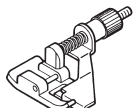
### ② ぬい目長さ・スーパー切換えダイヤル



### ③ 押え



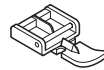
ジグザク押え



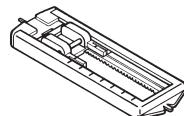
ブラインドステッチ押え






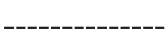










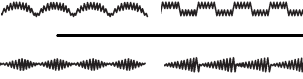












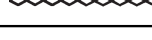

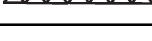

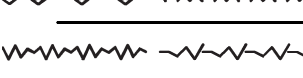




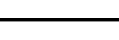

裁ち目かがり押え



ファスナー押え





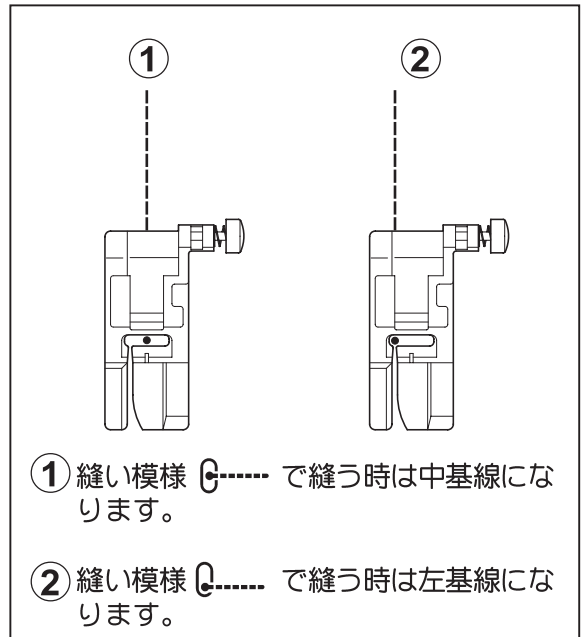
ボタン穴かがり押え

ぬい模様	① ぬい模様選択パネル	② ぬい目長さ・ スーパー切換えダイヤル	③ 押え
ボタン穴かがり 	1 		ボタン穴かがり押え
直線ぬい 	2 	1 - 4	ジグザク押え
(中基線)	3 		
ジグザクぬい 	4 	0.5 - 4	
まつりぬい 	5 	1 - 4	ブラインドステッチ押え
3点ジグザクぬい 	6 		
シエルぬい 	7 	0.5	ジグザク押え
かざりぬい 	8  9 		
	10  11 		
伸縮強化ぬい 	12 		ジグザク又は 裁ち目かがり押え
(中基線)	13 		
ジグザク伸縮ぬい 	14 		
オーバーロックぬい(右) 	15 		
スモッキングぬい 	16 		
オーバーロックぬい(左) 	17 		
スーパー かざりぬい 	18  19 		
	20  21 		
ファスナーつけ  (中基線)	2 	1 - 4	ファスナー押え

# 直線ぬい 2 3

直線ぬいはミシンぬいの基本ですので、試しぬいをして正しい使い方をよく覚えましょう。

- 1 ミシンをセットしましょう。  
ぬい模様 「 」  
ぬい目長さ 「1~4」  
糸調子ダイヤル 「5」  
はずみ車(プーリー)を手前に回して、天秤をいちばん上まで上げます。

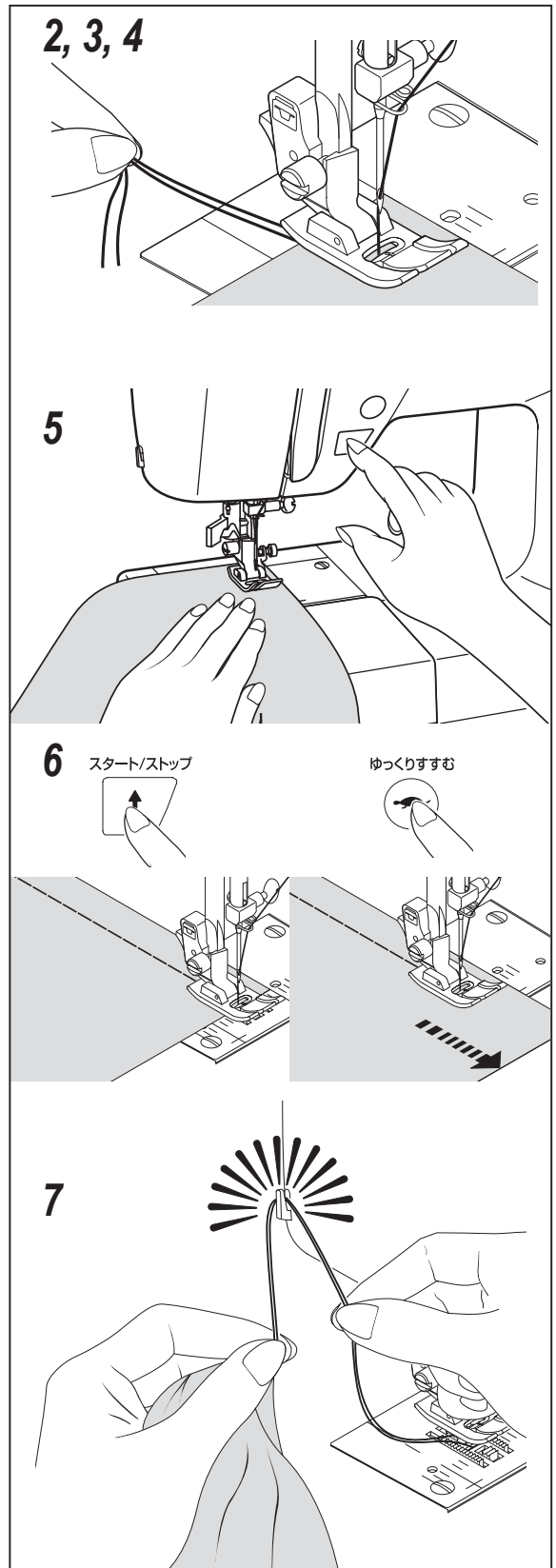


- 2 上糸と下糸をそろえて押えの下から向こう側へ10cmほど引き出します。
- 3 布を押えの下に入れ、押えを下げます。
- 4 はずみ車(プーリー)を手前に回して、針を布に突き刺します。

- 5 スタート/ストップスイッチを押してぬい始めます。  
「はやい」スピードをお望みの場合は、スピードコントロールのつまみを右に動かしてください。  
ぬっている間は、ミシンの布送りに合わせて、軽く導いてください。

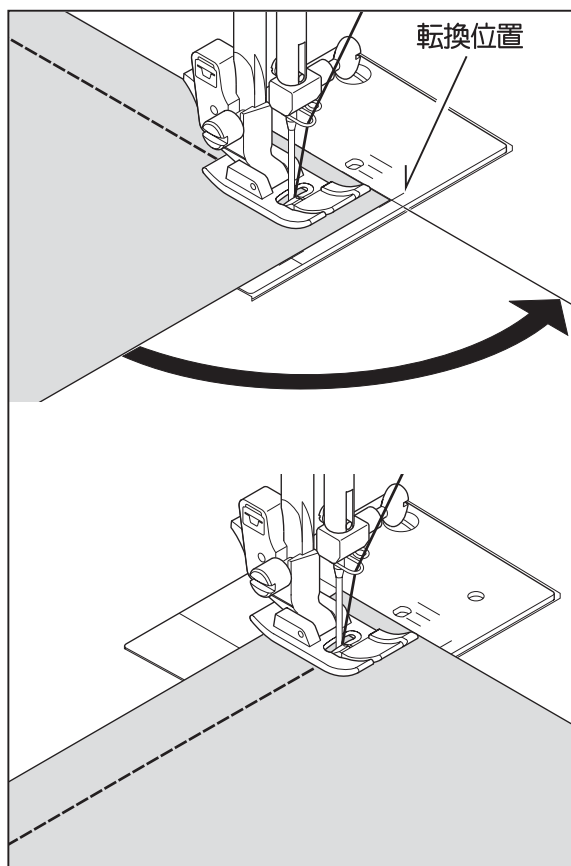
- 6 **ミシンの止めかた**  
**スタート/ストップスイッチ使用時**  
布はしまで来たら、スタート/ストップスイッチをもう一度押してミシンを止めます。  
**ゆっくりすすむスイッチ使用時**  
布はしに近づいたら、ゆっくりすすむスイッチを押して、スピードを落としてぬい、ぬい終わりでスイッチをはなすと、ミシンは止まります。

- 7 針を最上点に上げた状態で、押えを上げ、布地を後ろへ引き出し、面部カバーの糸切りで糸を切ります。  
切った糸は、面部カバーの糸切りに引っかけておきます。



ぬい方向の変更方 (布端から16mmでぬう場合)

- 1 布の角が針板上の「転換位置」に来たらミシンを止めます。
- 2 はずみ車(プーリー)を手前にまわして針を布地に突き刺し、押え上げレバーを上げます。
- 3 布地を回し、布の下端を16mmの線に合わせます。
- 4 押えを下げて再びぬい始めます。



## ファスナーつけ

ファスナー押えを使用します。

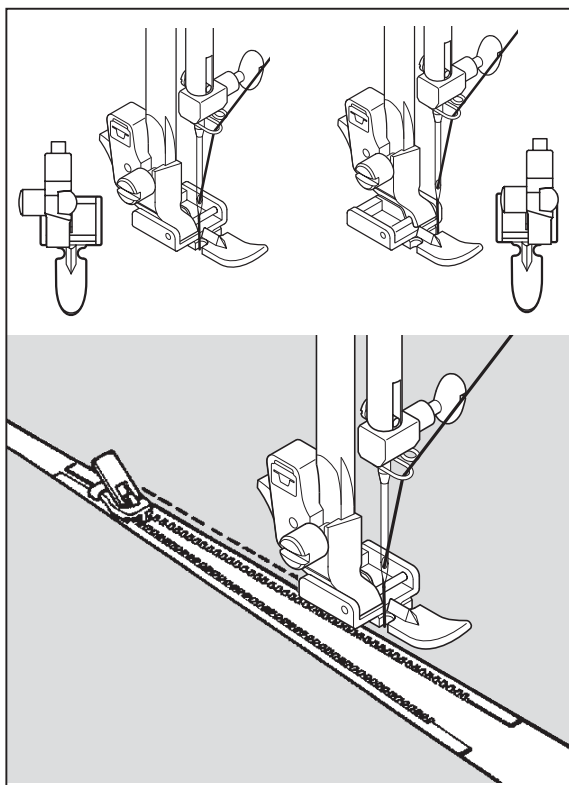
ファスナーの右側をぬうときは、押えホルダーを押えの左側のピンに取付けてぬいます。

左側をぬうときは、押えホルダーを押えの右側のピンに取付けてぬいます。

### ⚠ 注 意

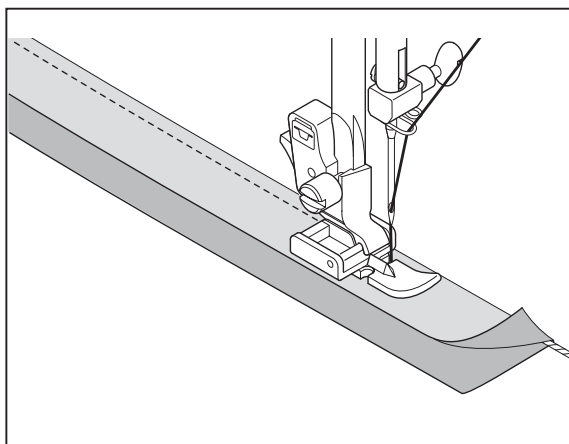
ファスナー押えを使用するときは、中基線にセットします。

この押えを使用中に模様選択ダイヤルを回すと、針が押えに当たって危険です。



## パイピング

バイアステープを外表に折るか、バイアステープでコードをくるみ、押えホルダーをファスナー押えの右側に取り付けて図のようにぬうと、パイピングテープを作ることができます。



## ぬいにくい布地のぬい方

**薄物(レース布、薄物布)**

※ レース布や特に薄い布地の場合、布の下に紙を敷きます。

ぬい終わったら、紙を取り除きます。

薄物ぬいで目飛びしたり、しわがよる場合も紙を敷いてください。

※ 薄物のぬい始めは、上糸と下糸を少し引っ張りながらぬいます。

**厚物(タオル布)**

タオル布をぬう際は、布の種類によって布送りが悪くなる場合があります。布の下に紙を敷き、太い針 # 16 を使用し、ゆっくりとしたスピードでぬいます。

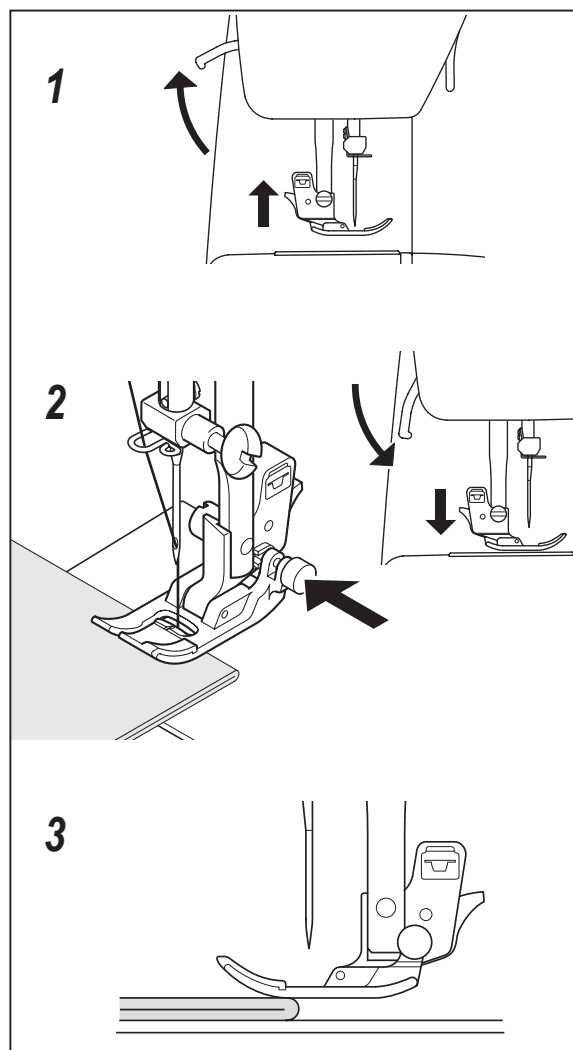
ぬい終わったら、紙を取り除きます。

※ ぬい目長さダイヤルを「2」以上にしてください。

**段ぬい**

※ 布送りがスムーズでない場合や、図のように重なった厚地の布をぬう場合は、押えの右側の黒いボタンを使用します。

- 1 押え上げレバーを上げます。
- 2 押えの黒いボタンを押したまま、押え上げレバーを下げます。
- 3 押えが水平になり、布地が送られます。更にぬい進むと、黒いボタンは開放され、元に戻ります。



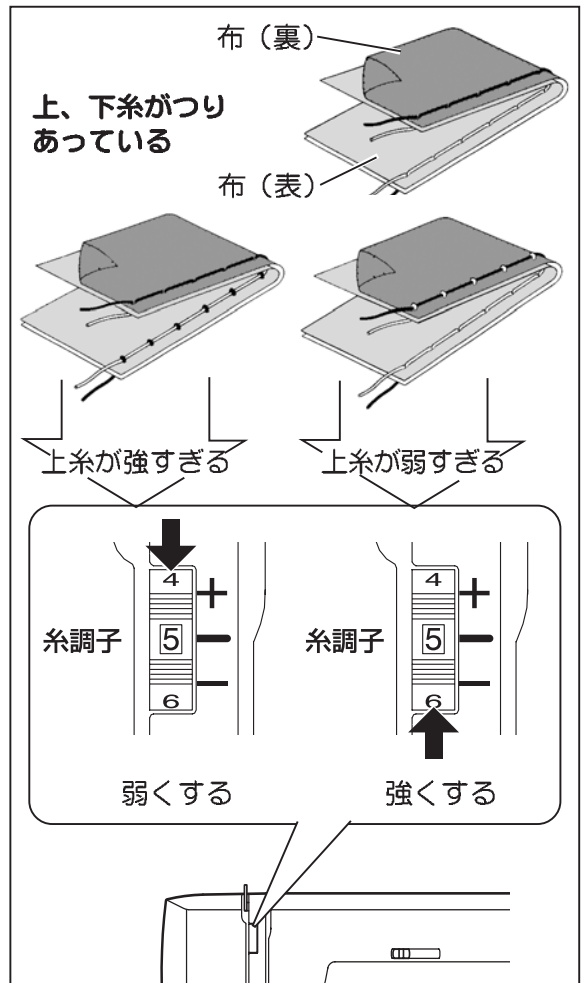


## 糸調子のとり方

直線ぬいの場合、上糸と下糸が布の中間で適当な張力をもってからみ合うのが、正常な糸調子です。  
通常の場合は、「5」に合わせてください。

上糸が強くて、布の表に下糸が出るときは、上糸調子ダイヤルを数字の小さい方へ回して上糸調子を弱めます。

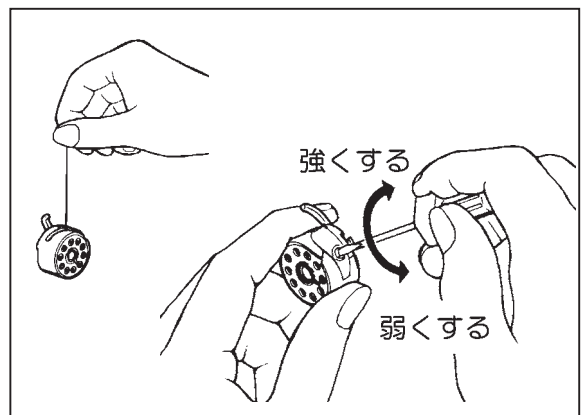
上糸が弱くて、布の裏に上糸が出るときは、糸調子ダイヤルを数字の大きい方へ回して上糸調子を強めます。



## 下糸調子のとり方

通常ボビンケースの下糸調子は調整の必要はありませんが、糸調子が正常かどうか確認する場合は、調子バネの下に糸（ポリエステルスパン #60）を通し、上下に軽く振って少しずつくりだすか試してください。


もし調整を必要とする場合は、調節ネジを少しずつ（1/4 回転以内）まわしてください。

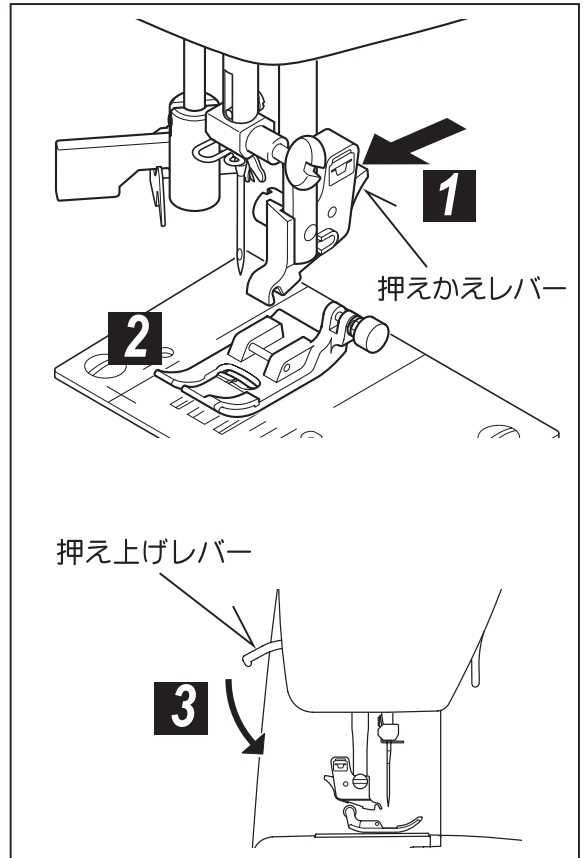


## 押えのとりかえ方

押えと針を上げます。

- 1 押えかえレバーを矢印の方向へ押すと、押えがはずれます。
- 2 針板と押えの針穴が合うように新しい押えを針板の上におきます。
- 3 押え上げレバーを下げると押えがセットされます。  
入りにくい時は、押えかえレバーを押すと入ります。

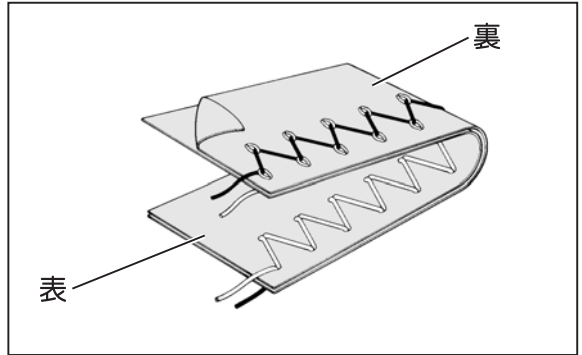
 注意	押えの取りかえは、必ず電源ランプスイッチを切ってから行ってください。
---	------------------------------------




# ジグザグぬい 4

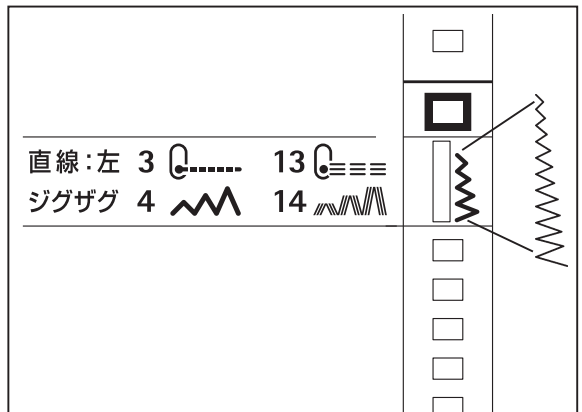
## ジグザグぬいの糸調子

布の裏側に上糸が少し出るように、直線縫いのときより上糸調子をやや弱めにしてください。



## ジグザグぬい目幅の選択

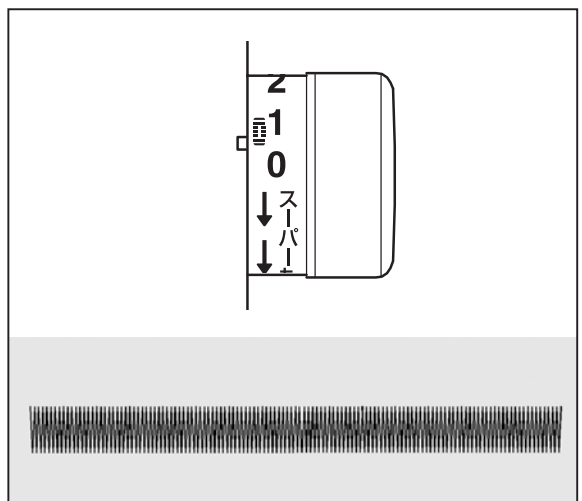
模様選択ダイヤルを回して、縫い模様表示を  の間でお望みのジグザグの振り幅にセットします。



## サテンステッチ（密着ぬい）

ぬい目長さダイヤルを「0.5」ぐらいにセットすると、目のつまったきれいなぬい目ができます。

アップリケ、刺しゅうぬいなどに使います。

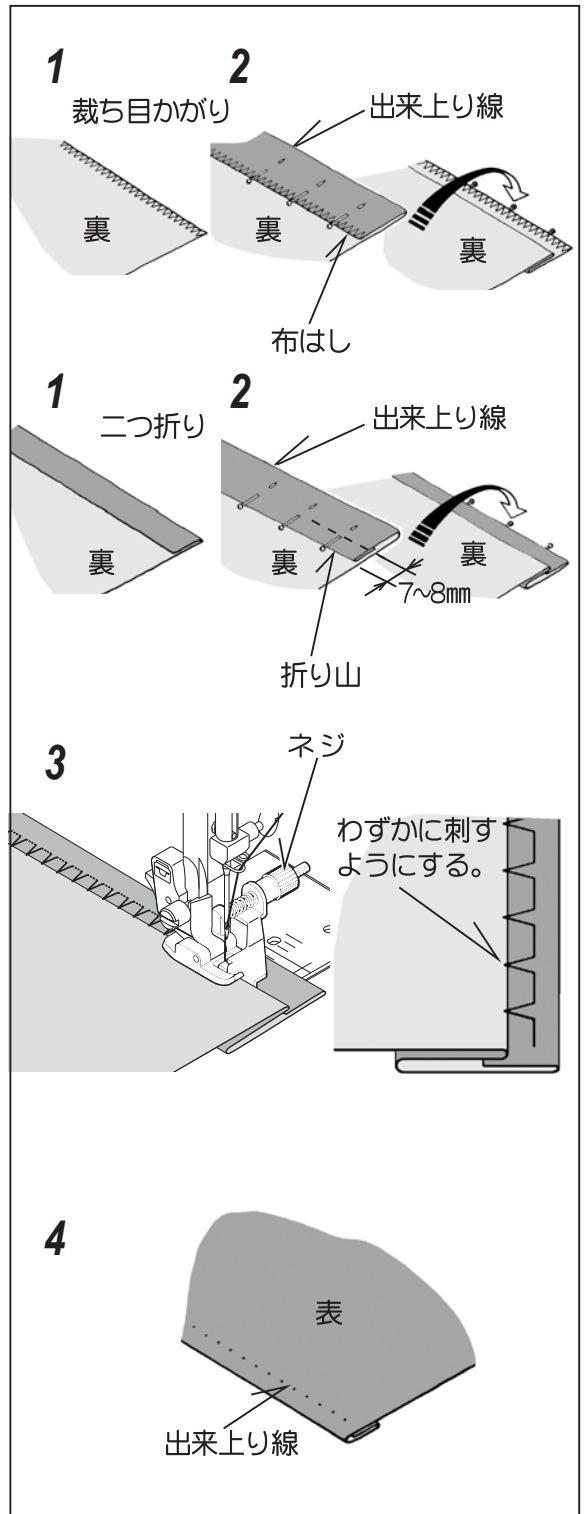


**1** 布端を裁ち目かがりするか、二つ折りにします。

**2** 出来上り線にそって布を折り、布はしまたは、折り山から約7~8mm入ったところからすそに向って、図のように待ち針で止めます。待ち針を持って折り返します。

**3** 針が左に落ちるとき、針が折り山をわずかに刺すようにネジで調整しながらぬっていきます。待ち針は押えの手前に来たら順に抜いていきます。

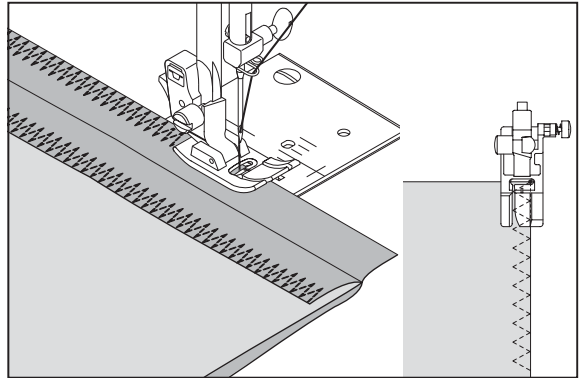
**4** 布を表に開くと出来上りです。



## 3点ジグザグぬい 6

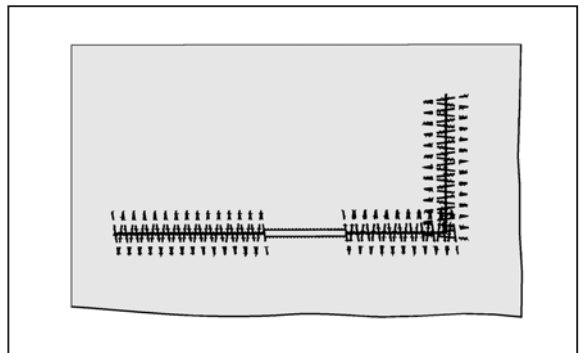
### 裁ち目かがり

3点ジグザグぬいは、ジグザグぬいが一針でぬうところを三針でぬいますので、丈夫にぬえ、伸縮性があります。どのような種類の布の裁ち目かがりにも使えます。



### つくろいぬい

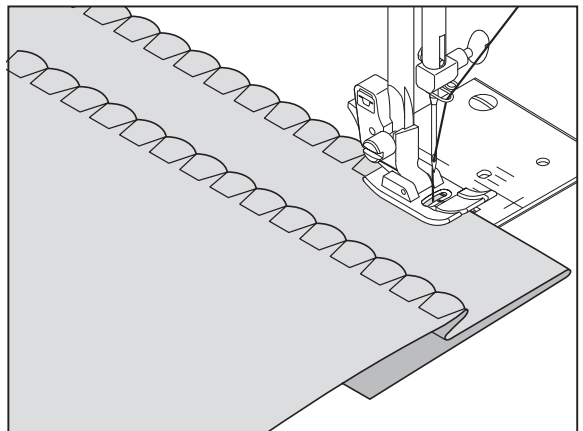
布の裂け目をつくろうには、裂け目を押えの下に置き、針が裂け目の両側を拾うようにぬいます。裂け目の角をぬう場合は、両側から角の中心に向かってぬっていきます。裂け目の下に布を一枚あててやると丈夫につくろえます。



## シエルぬい 7

シエルぬいは、その名の通り貝殻を一直線に並べたような装飾模様として使えますので、ランジェリーやガウンの仕上げに最適です。針が右側に落ちる時、布地にかからないようにしてぬってください。ぬう前に、はぎれを使ってテストぬいされることをおすすめします。


⑦ 上糸の糸調子を通常の場合より少し強めにします。

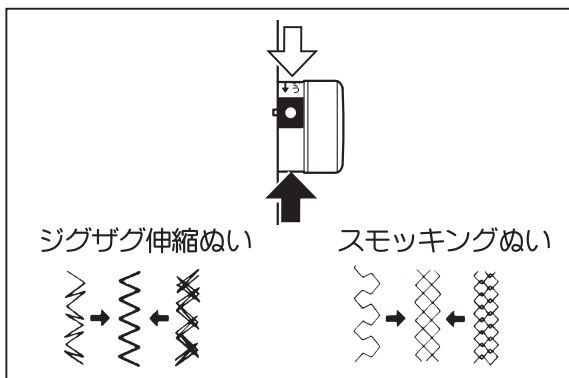


## ぬい目長さの調整

ぬい目送りダイヤルの  印の位置でバランスの取れた美しい伸縮ぬいができます。

### 模様形状の整え方

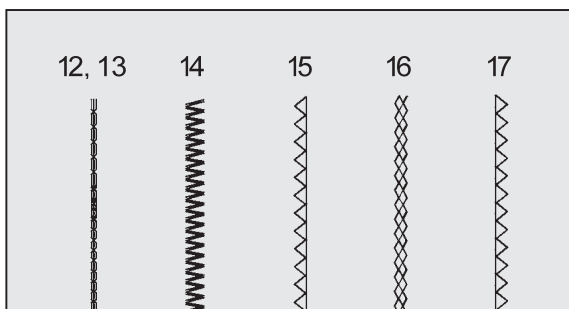
伸縮ぬいは、使用される布地によって伸びたり縮んだりすることがありますので、 マークの前後でぬい目送りダイヤルのつまみを動かして調整します。



### 伸縮性の生地をぬう場合

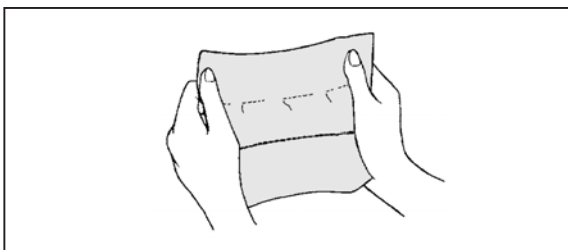
薄い伸縮性のある生地やニット地にストレッチステッチをぬう場合は、ニット専用針を使用されると目とびなどを防ぎ、好結果が得られます。

12. 伸縮強化ぬい(中基線)
13. 伸縮強化ぬい(左基線)
14. ジグザグ伸縮ぬい
15. オーバーロックぬい(右)
16. スモッキングぬい
17. オーバーロックぬい(左)



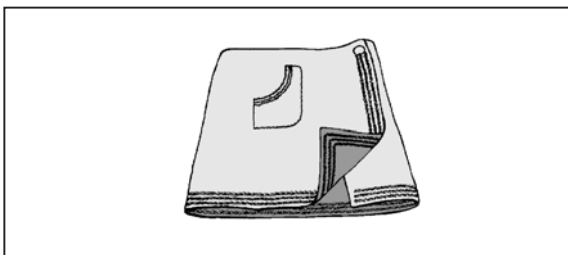
## 伸縮強化ぬい 12 13

図のように布地をひっぱると、普通のぬいでは糸が切れますが、伸縮強化ぬいはぬい目が伸び縮みして糸が切れません。



## ジグザグ伸縮ぬい 14

ぬい目に伸縮性があるので、ニットや、ジャージ、トリコットなどの伸縮性のある布地に適しています。

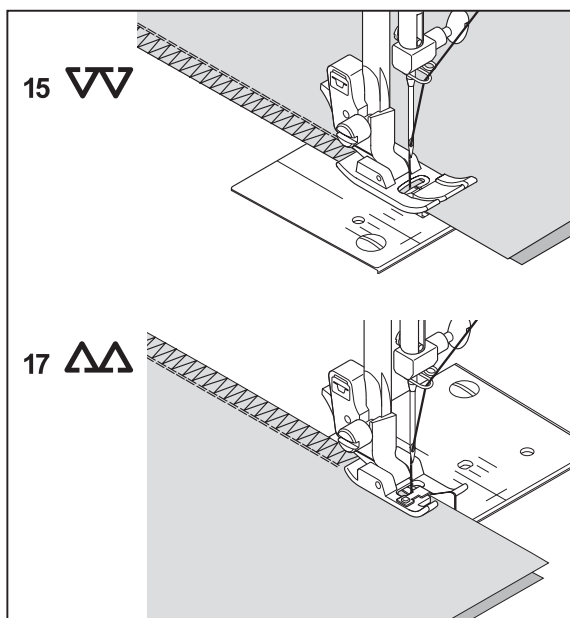


## オーバーロックぬい 15 17

地ぬいとかがりぬいを一度にし、又伸縮性があるので、ブラウス地や綿ジャージ、薄い生地ぬい代の仕上げを始めとし、小物、手芸品などの飾りぬいに最適です。

針は14番以上は使用しないでください。

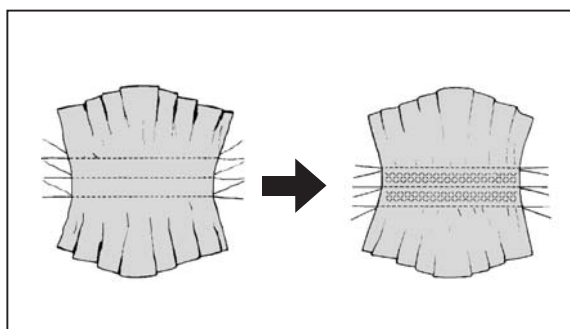
17番の模様で裁ち目かがりをする時は、裁ち目かがり押えの使用をお勧めします。



## スモッキングぬい 16

- 1 上糸調子を弱くして、1センチ位の間隔を開けて直線ぬいをしてください。
- 2 下糸だけを引っ張ってギャザーを寄せ、上糸と下糸を結んでギャザーを固定します。
- 3 直線ぬいの間をスモッキングぬいします。直線ぬいの糸をほどこきます。

ヨーク、ベビー服、幼児のドレス、ランジェリー、タック押えに最適です。



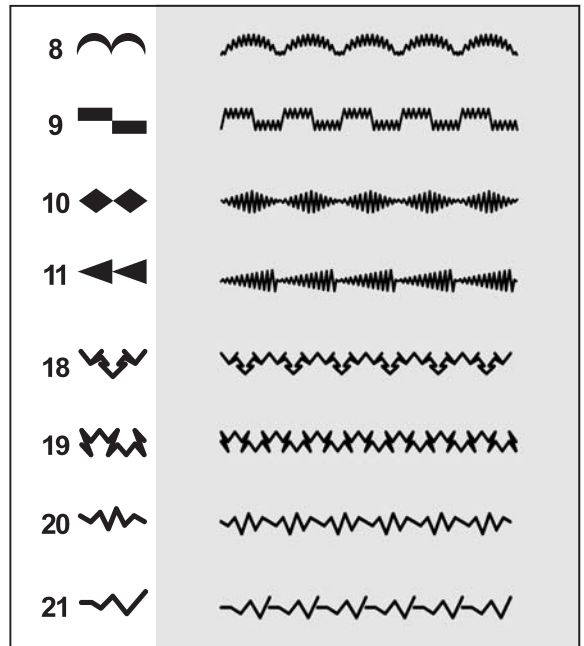
# 飾りぬい



※ 使用される布地の端切れで試しぬいをされることをおすすめします。

※ ぬい途中に糸がなくなることを避けるためにボビンと糸ゴマに十分な糸があることを確認してからぬい始めてください。

※ 上糸調子をやや弱めにセットしてください。



## スカラップ模様

婦人服や子供服のそでやえり等の縁飾りとして、また端の始末などに利用できます。

端の始末をする場合は、布端をこの模様でぬった後、模様に沿って布地を切り取ります。この際ぬい目の糸を切らないように注意します。

## ドミノ模様

バイアステープを使い縁を折り返します。その上からドミノ模様で仕上げます。

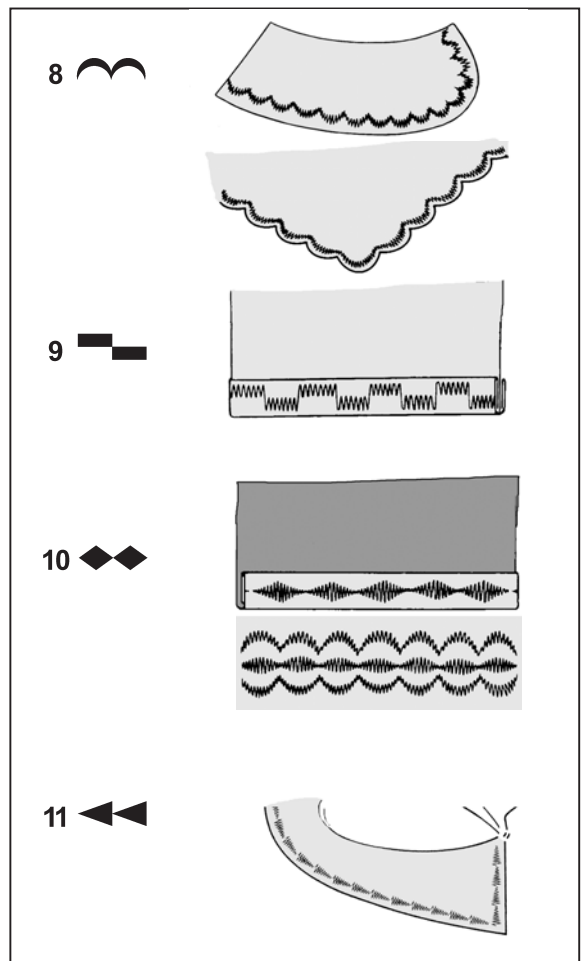
## ダイヤモンド模様

縁を折ってこの模様で縁の始末をします。

スカラップ模様とダイヤモンド模様の組み合わせでさらに美しい模様を創り出します。

## アローヘッド模様

飾りぬいとして使われるほか、ほつれやすい箇所を補強するための装飾的な三角形の止め（三つ止め）として使われます。特にポケットの両端などに装飾的に使われます。



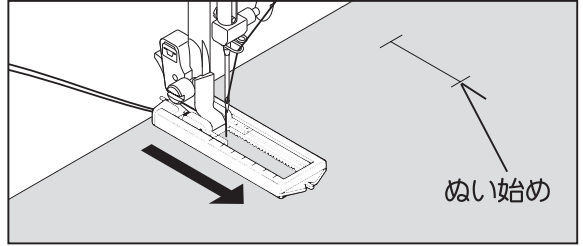


# ボタン穴かがり 1

## ぬい始めのセット

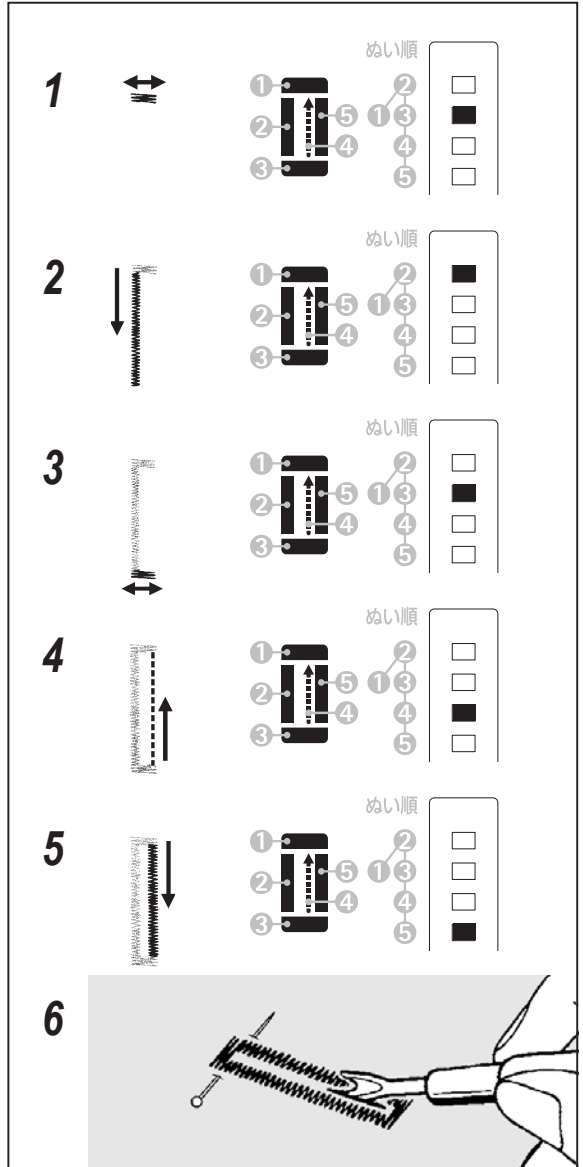
ボタン穴かがり押えをセットし、ぬい始めの位置に合わせて押えを下げます。

- ※ 伸縮性のある布地で、進みにくい場合は、布地の下に不織布の接着芯を貼ってください。
- ※ 使用される布切れで試しぬいをされることをおすすめします。



## ぬい方

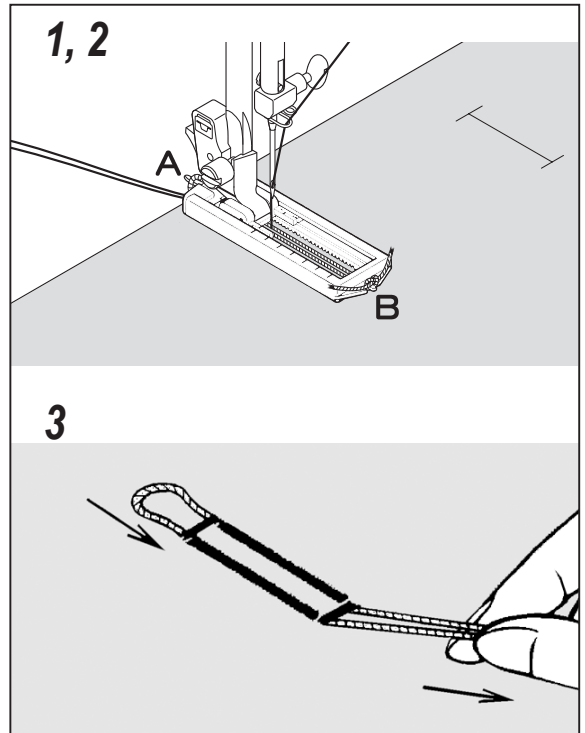
- 1 左右に4～5針縫ってください。
- 2 矢印の方向へ必要な長さだけ縫ってください。
- 3 左右に4～5針縫ってください。
- 4 自動的に直線縫いでバック縫いしますので、縫い始めの線まで縫ってください。
- 5 矢印の方向へ必要な長さだけ縫ってください。  
厚い布地の場合は、ステップ2、5をもう一回繰り返すとさらに美しくしっかり出来上がります。
- 6 ぬい終わったらリッパーで中央の布地を切り開きます。  
その際ぬい糸を切らないように注意してください。



## 芯入りボタン穴かがり

芯糸を入れてぬうと、ボタン穴の伸びを防ぎ、強いボタン穴ができます。芯糸にはレース糸または穴糸を使います。

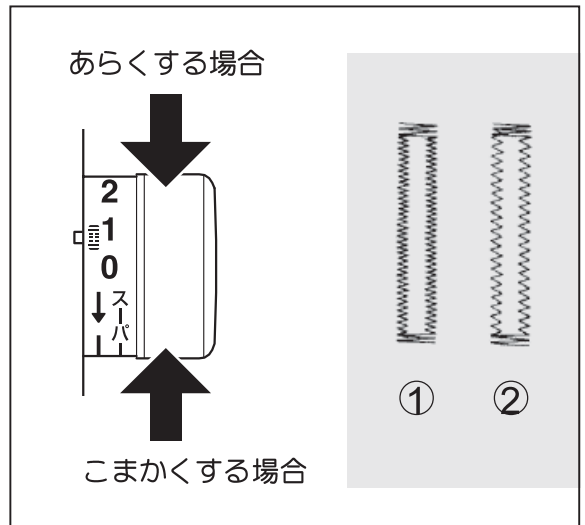
- 1 芯糸をボタン穴かがり押えのうしろの突起(A)に引っかけて、押えの下を通して前の突起(B)に結び付けます。
- 2 このまま押えを取りつけて穴かがりすると、芯糸入りのボタン穴かがりができます。
- 3 ぬい終わったら芯糸を押えからはずし、糸の端を引いてたるみをなくし、余分の糸を切り取ります。



## ぬい目のバランス調整

使用する布地の種類や厚さによって、縫い目のあらかさを調整します。

- ① 縫い目をこまかくするには、ダイヤルを“0”の方へ回します。
- ② あらくするには、“2”の方へ回します。



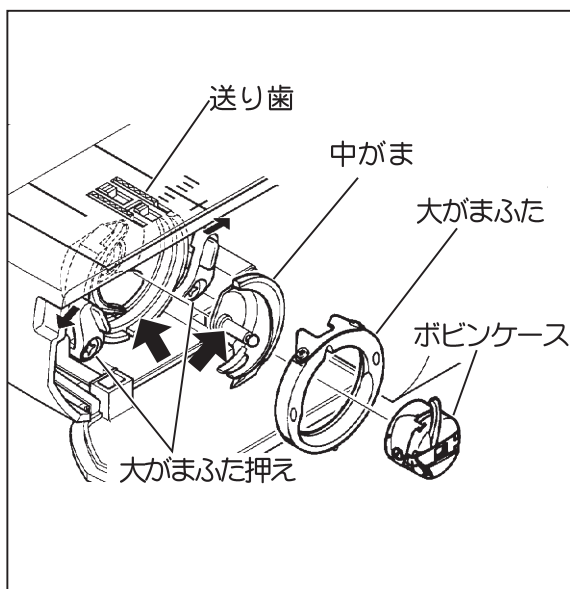
### 3. ミシンのお手入れ …… ミシンを長もちさせるためには、日常の手入れが大切です。

## かまの掃除

**⚠️ 注意** 安全のために必ず電源ランプスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガの原因になります。

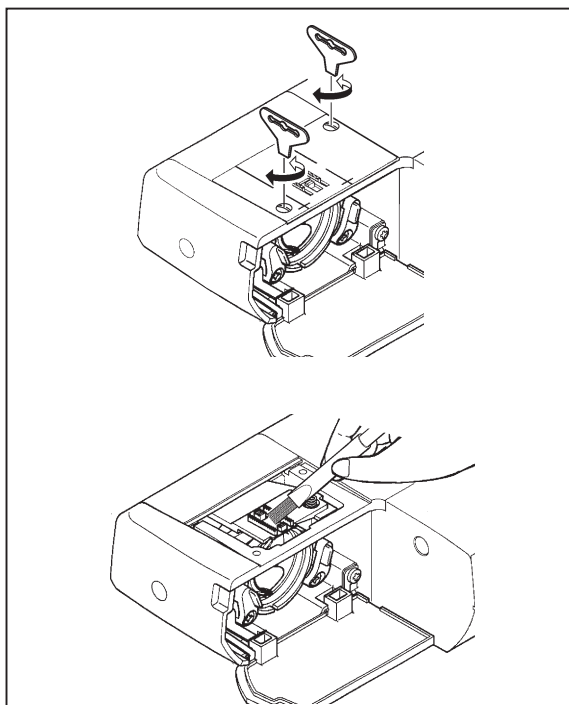
針を最上点に上げます。補助ベッドをはずし、かまカバーをあけます。

- 1 ボビンケースをかまからはずします。
- 2 大がまふた押えを左右に開きます。
- 3 大がまふたと中がまをはずします。
- 4 送り歯やかまのまわりをブラシで掃除してください。  
(ミシン油を矢印部分に1～2滴注油しておくとい良いでしょう。)
- 5 掃除が終わったら、はずし方と逆の順序でセットし、大がまふた押えが「カチッ」と音がするまで、完全にもどしてください。



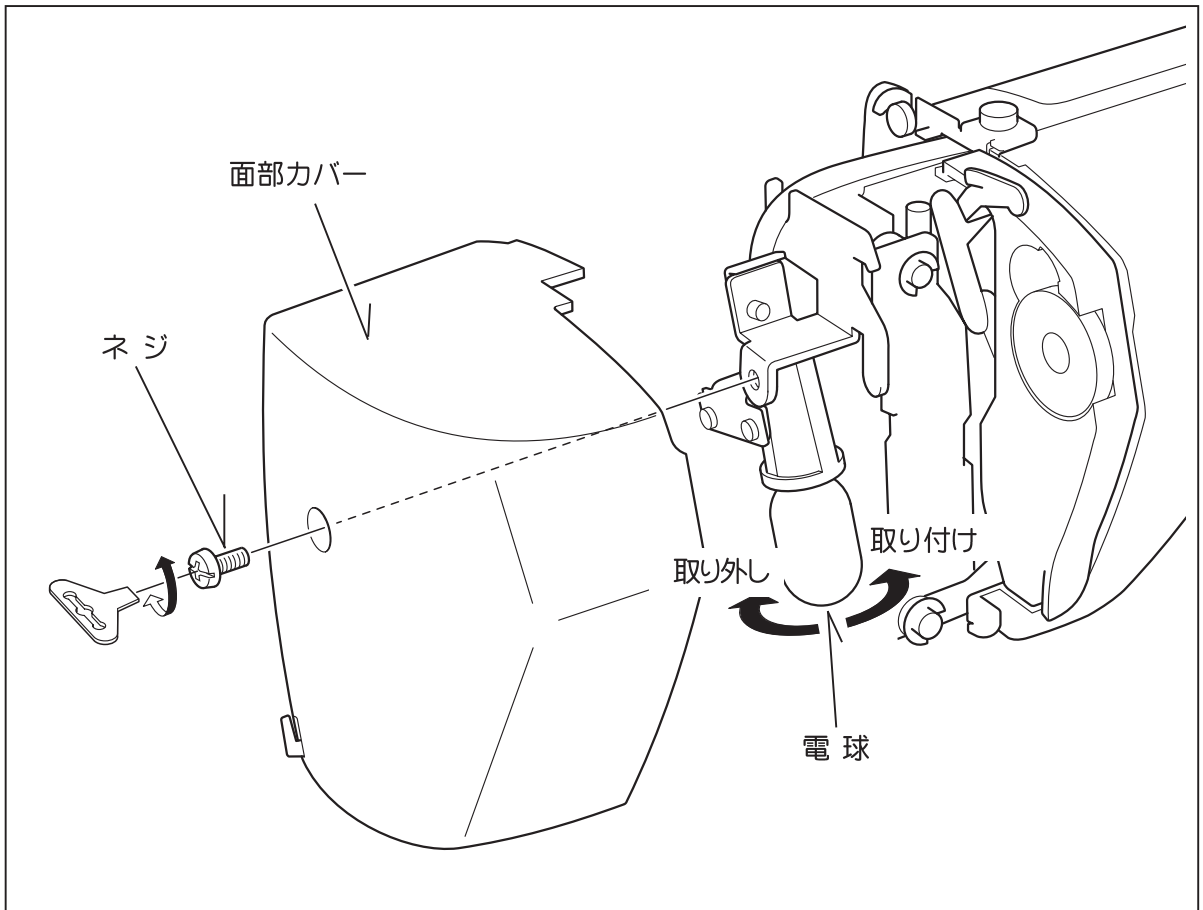
## 送り歯の掃除

針板を取りはずし、送り歯の周辺の糸くずなどを取り除きます。



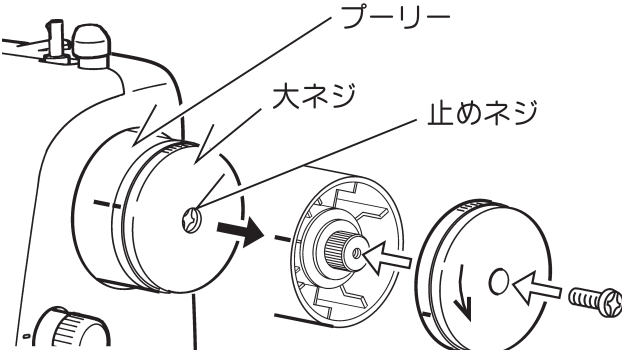
## 電球の取りかえ

- 1 電源プラグを電源から抜いてください。
- 2 ネジを外し、面部カバーを取り外します。
- 3 電球を左に回して取り外し、新しい電球（100 V / 15 Wネジ込み式）を右に回して取り付けます。  
① 15 W以上の電球は使用しないでください。
- 4 面部カバーを元の位置に取り付けます。



## 4. ミシンの調子が悪いとき、 次の原因を確かめましょう ……

こんな時には	原因	対処	参照 ページ
ミシンが 回らない	糸巻き軸が右になっている。	糸巻き軸を左へ押します。	9
	電源コードがただしくセットされていない。	正しくセットし直します。	5
	電源ランプスイッチが“OFF”の位置にある。	スイッチを“ON”の位置にセットします。	5
回転が重い 音が高い	送り歯やかまに糸くずやごみがたまっている。	糸くずやごみを取り除きます。	3 2
	針が曲っている、先がつぶれている。	新しい針と取り換えます。	1 2
布を送らない	押えを下ろしていない。	押え上げレバーを下ろして、押えを下げます。	-
	ぬい目長さダイヤルが“0”の位置にある。	ダイヤルを“1～4”に合わせます。	-
	厚物ぬいの場合		2 1
ぬい目がとぶ	布に合った針・糸を使っていない。	布と針・糸の関係を合わせます。	1 2
	針が曲っている、先がつぶれている。	新しい針と取り換えます。	1 2
	針が針棒のいちばん奥まではいっていない。	正しくつけ直します。	1 2
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱めます。	2 2
	上糸の掛け方が間違っている。	正しくかけ直します。	1 3
	糸くずがかまにたまっている。	糸くずを取り除きます。	3 2
	ぬいにくい布地の場合		2 1
針が折れる	無理に布を引っ張った。	布は軽く案内するだけにしてください。	-
	布に合った針・糸を使っていない。	布と針・糸の関係を合わせます。	1 2
	針が針棒のいちばん奥まではいっていない。	正しくセットし直します。	1 2
	押えが正しく取り付けられていない。	押え止めネジを締め直します。	-
	段ぬいの場合		2 1
糸が 布と針板の間で だんごになる	ぬい始めに上糸と下糸を向こう側に 引き出していない。	常に両糸をそろえて押えの下から向 う側へ10cmほど引き出します。	1 5

こんな時には	原因	対処	参照ページ
上糸が切れる	上糸の掛け方が間違っている。	正しくかけ直します。	1 3
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱めます。	2 2
	布に合った針・糸を使っていない。	布と針・糸の関係を合わせます。	1 2
	針が曲がっている。	新しい針と取り換えます。	1 2
下糸が切れる	ボビンの糸の通し方が間違っている。	正しくセットし直します。	1 0
	糸くずがボビンケースやかまにたまっている。	糸くずを取り除きます。	3 2
ぬい物にしわがよる	糸調子が強すぎる。	糸調子を弱めます。	2 2
	針が曲っている、先がつぶれている。	新しい針と取り換えます。	1 2
	薄物に対してぬい目が大きい。	ぬい目を小さくします。	-
	薄物ぬいの場合		2 1
上糸がかまにからまって取り除けない	上糸をすこしゆるめ、はずみ車(プーリー)を手前に回して糸を引き上げます。		-
	かまにからまっている糸をはさみで切って取り除きます。		-
	ボビンケースの位置がずれている。	正しい位置にセットします。	3 2
厚物縫い時 プーリーがゆるんでぬえない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 左手ではずみ車(プーリー)を固定し、大ネジを後方に回し、締めてください。その位置ではずみ車(プーリー)に印をつけます。</li> <li>2. 大ネジ側の止めネジをドライバーでゆるめ、取り外します。大ネジを引っ張り外して、2、3 cm ずらせて、はめ込んでネジを締めてください。</li> <li>3. 再度、はずみ車(プーリー)を固定し、大ネジを後方に締めます。</li> </ol>		
			

## 5. 別売り付属品のご案内……

### フットコントローラー お求めは、販売店または弊社までお問い合わせください。



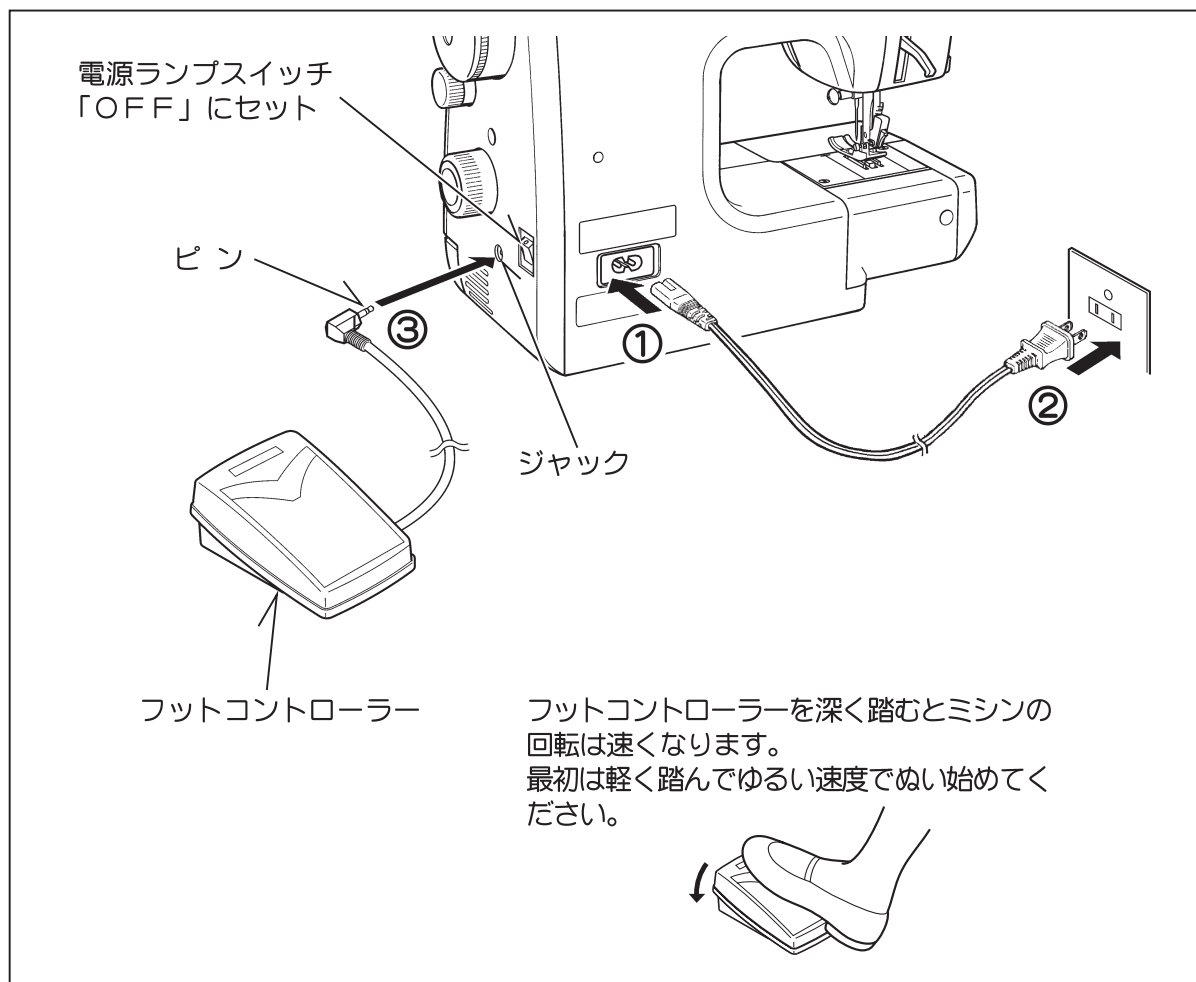
ミシンを使用しないときは、必ず電源ランプスイッチを切り、電源コードを電源から抜いてください。

#### 電源のつなぎ方

電源ランプスイッチを「OFF」にしてください。

電源コードのプラグ ① をミシンにしっかりと押し込みます。  
次にプラグ ② を室内コンセントにさしこみます。

フットコントローラーのピン ③ をミシンのジャックにさしこみます。



## ■アフターサービスと保証

- このマシンには保証書がついています。
- 保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、お買い上げの日から1年間です。ただし、マイコン基板は2年間です。
- 保証期間中でも有料になることがありますので、ご了承ください。(保証書に詳細を記載してありますので、そちらをご覧ください。)
- 保証期間経過後の修理につきましては、販売店にご相談ください。  
当社は、このマシンの補修用性能部品を、製造打ち切り時点から最低8年間保有しています。

# JUKI

アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、お近くの営業所をご紹介させていただきます。

北海道営業所/東北営業所/東京営業所/名古屋営業所  
大阪営業所/広島営業所/九州営業所

Copyright © 2006 JUKI CORPORATION  
本書の内容を無断で転載、複写することを禁止します。

JUKI 株式会社

〒182-8655 東京都調布市国領町8-2-1  
☎03-3480-7112

Printed in China



7/06